

文化を創る、フラッグシップ。

2021 秋

# GRANSHIP

グランシップマガジン vol.27



特集 グランシップ10/1全館リニューアルオープン  
さらに身近に便利で快適に  
今、改めてグランシップをもっと利用してみよう!

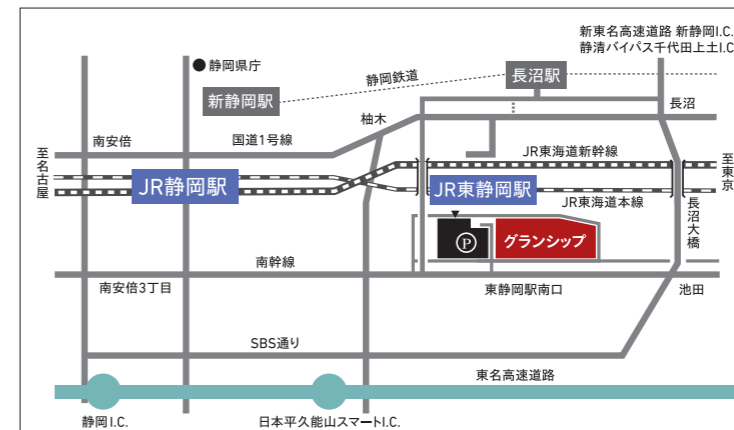
GRANSHIP グランシップマガジン vol.27 2021年9月15日発行

公益財団法人 静岡県文化財団

GRANSHIP サポーターズEYE



撮影サポーター: 鈴木勇樹

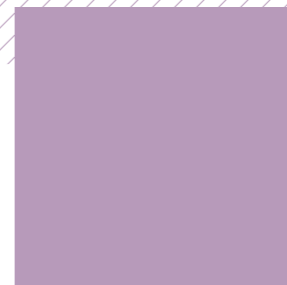
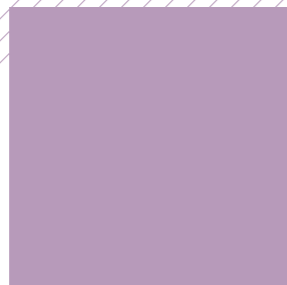
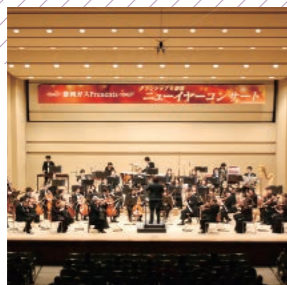


### ACCESS

- JR東静岡駅南口隣接  
静岡鉄道長沼駅から徒歩10分
- 東海道新幹線(ひかり)で  
東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間  
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分
- 車では東名高速道路 静岡I.C.から20分  
日本平久能山スマートI.C.から10分  
新東名高速道路 新静岡I.C.から15分  
静岡バイパス千代田上土I.C.から10分
- 富士山静岡空港から静鉄バス  
(静岡エアポートライナー)で静岡駅まで55分  
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分



静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 指定管理者 公益財団法人静岡県文化財団  
〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716 <https://www.granship.or.jp>



## GRANSHIP Contents

GRANSHIP News  
 GRANSHIP 10月1日全館リニューアルオープン  
 さらに身近に便利で快適に  
 今、改めてGRANSHIPをもっと利用してみよう！

Interview  
 スペシャルインタビュー・小菅 優  
 音楽とは自然にあるもので、必要なもの。  
 音自体が音楽なんです。

Pick up 1  
 静岡のプロオーケストラが奏でるウィーンの響き  
 GRANSHIP & 静響ニューイヤークンサート Vol. 20  
 高関 健 独占インタビュー

Pick up 2  
 GRANSHIP プレミアム・クリスマス・ジャズ・ライブ  
 小曾根真 Christmas Jazz OZONE60 'THE SONGS'

Pick up 3  
 「ことば」から広がる新しい世界  
 GRANSHIP 出前公演  
 2021年しずおか連詩の会 in 浜松

14  
 コロナ時代の文化芸術  
 #07 静岡県文化プログラムふじのくに伝統芸能フェスティバル  
 今、地域の芸能を次世代につなぐために

Column  
 岩下尚史の 伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。  
 Vol.27 地域の芸能を、次代へ伝える自由

16  
 GRANSHIP Event Calendar  
 2021年10月〜12月GRANSHIPイベントカレンダー  
 Outreach  
 GRANSHIP子どもアート体験！学校プログラム  
 「GRANSHIP 誰もがWonderfulアート」  
 関連アウトリーチ「貼り絵ワークショップ」

21  
 Introduction  
 三島宗祇法師の会 & 掛川市子どもの読書活動を考える会  
 ごとにも、大人に、きちんと伝えよう 地域の文化

22  
 Exhibition  
 文化芸術の想いをつなぐ 静岡の秋冬  
 10月〜12月のイベント情報  
 Information  
 静岡ブンプロ通信 最終回 アーツカウンシルしずおか

28  
 Information  
 静岡2大博物館「秋の企画展」。おでかけ前にチェックしておきたい鑑賞ポイント  
 静岡県富士山世界遺産センター & ふじのくに地球環境史ミュージアム

30  
 Information  
 『みつばち共和国』一制約の中でも「生きたアート」を創る。  
 SPAC 秋↓春のシーズン2021・2022  
 SPAC

32  
 Information  
 静岡県立美術館  
 静岡県立美術館超名品展 風景と人間

34  
 Introduction  
 GRANSHIPの貸し施設 貸館インフォメーション  
 「11階」会議ホール・風

35  
 Information & Communication

### 表紙の絵



浦田周社 《奥浜名「夕照」》1988年 530×395mm 木版画  
 <かつての細江町(浜松市北区)、奥浜名湖からの夕景。航路の目印「滞つくし」は万葉集にも歌われている。>  
 浦田周社(うらた かねたか)  
 1939年静岡市生まれ。高校卒業後、家業である浮世絵処「版隈」六世を継ぐ。1976年文化庁認定重要民俗文化財選定保存技術保持者に認定。浮世絵木版画彫摺技術保存協会会員となる。1994年静岡市芸術文化奨励賞受賞。1999年静岡県文化奨励賞受賞。2016年静岡県知事表彰受賞。2019年令和元年度文化庁地域文化功労者表彰受賞。2016年静岡産業大学内に「浦田周社木版画美術館」開館。構想から彫り、摺りまで自らが作品を制作する一方、伝統技法の継承保存や版画の伝承、普及に尽力する。白日会会員、国際浮世絵学会会員、東京伝統木版画工芸協会会員、静岡県版画協会顧問。



**RENEWAL!**  
**HOW TO USE 1**

## スマートに、スムーズに。 『貸館』のサポートがさらに手厚く

グランシップでは、大ホールや中ホールなどの各種ホールをはじめ、会議室、練習室、展示ギャラリーなど、様々な施設を貸し出しています。今年3月、手続きをワンストップでできる貸館相談窓口が2階にオープン。予約から詳しい利用方法の相談まで、経験豊富な担当者がサポートします。

### 電話問合せや初めての方もラクラク！

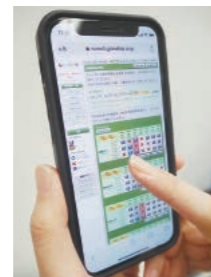


1階インフォメーションでカードキーやご用途によりWi-Fiルーターなどの備品を貸出

利用目的や人数、ご要望を聞きながら、使い方のご提案や施設選び、予約を丁寧にサポートします。あらかじめ視察のご希望をお伝えいただければ、空き状況を確認します。一度の来館で実際のお部屋を見学してから予約できますので、使い方をイメージしやすいですよ。もちろん、相談だけでもお気軽に。



### オンラインでカンタン予約！



空き状況を確認しながらオンラインでも簡単に予約できます。定例会議やサークルなどの予約担当さんにおすすめです。

**information**

**10/1(金) 16:30~20:00**  
**10/2(土) 13:00~17:00**

**貸館相談ブース**

1階エントランスに貸館相談ブースを設置します。リニューアルオープンを機にグランシップを利用してみたいとお考えの方はもちろん、ちょっと値段が知りたい、こんなことをしてみたいなど、ささいなことでもお気軽にお尋ねください。  
※事前申込不要(混雑時はお待ちいただく場合があります)

お気軽にお声がけください

**RENEWAL!**  
**HOW TO USE 2**

## リアルやオンラインに、ハイブリットに 利用できる『会議室』

グランシップ9階~12階には10人から300人収容できる大小18室の会議室があり、小規模な打ち合わせやセミナー、趣味の会、企業の報告会など、様々な用途で使うことができます。もちろん、オンライン会議なども可能です。

### オンライン会議やリモートワークにも！



大型モニターで、複数拠点のメンバーたちとの意見交換もスムーズ。キャスター付きで移動も可能。

### オンライン会議デモンストレーション

オンライン会議をお考えのお客様には、会議室で実際に機器を接続して個別に模擬オンライン会議を体感できる機会をご用意。  
9月~10月(ご希望の日時でご相談ください)  
※事前申込制

基本のスクール形式以外に、ひとつの大きなテーブルを囲む10人定員の会議室や既存レイアウトが口の字型の部屋など、内容によって会議室の使い分けができます。また、試験会場やソーシャルディスタンスを確保したレイアウトでのセッティングは、開催支援サービスで承ります。お弁当の注文や、その他サービスもご利用ください。



### お弁当の手配からセッティングもお任せ



栄養バランスを考えた「まごは優しい弁当」など約20種類から選べます。



300人収容の大会議室はカーペットを新調。

**information**

**10/1(金)・10/2(土)**

**施設見学会 開催**

大ホール・海をはじめとしたホールを見学して各施設の特色の比較をしてみよう! 普段は入ることのできないバックステージをご覧いただけるチャンスや、特定天井対策工事によってどのように耐震化したかについてのパネル説明も。  
※事前申込制  
回によって、見学コース・内容が異なりますので、詳しくはグランシップHPをご覧ください。

具体的なご利用が  
お決まりでなくても  
この機会に  
ご見学ください

# さらに / 身近に 便利で 快適に 今、改めてグランシップを もっと / 利用してみよう!

**10月1日、全館リニューアルオープン!**  
さらに使いやすく身近になりました。

グランシップは、特定天井対策工事として、特定天井と呼ばれる吊り天井を耐震化する改修工事を行うため、2020年9月8日から2021年2月28日まで全館休館しました。3月1日の再オープン後は、大ホール海などの工事を終えた施設から順次再開し、いよいよ10月1日、中ホール・大地が13か月ぶりに再開。より安心・安全な施設として全館リニューアルいたします。

リニューアルしたのは、構造面だけでなく、まず、施設を利用されるお客様がより使いやすく、そして、すべてのお客様が気軽に立ち寄りいただける空間を目指しました。館内の多くの照明をLED化し、省エネで明るくしました。とりわけ1階ロビーは、白い大理石の床も相まって明るく、開館22年目とは思えないほど清潔に保たれていると評判です。開館中は自由に出入りできるので、1階から3階にかけての常設展示を身近に感じながら、気軽にベンチや休憩スペースを待ち合わせなどにお使いください。

コロナ禍でリモート需要が高まる中、会議室も用途に応じたインターネット環境への対応に加え、大型モニターを新調し、オンライン会議がさらにスムーズに。会議室エリアは静かで落ち着いているので、就職説明会や面接試験、打合せからセミナーまでリピーターの支持が厚く、新規問合せも増えていきます。正面エスカレーターを上がってすぐの2階にオープンした貸館相談窓口では、貸館のお問い合わせ・ご予約をサポート。会場の図面や利用事例などの資料を見ながらわかりやすくご案内しますので、初めての方やインターネットが苦手な方におすすです。イベントの照明、お花、お弁当の手配など、文化施設ならではの開催支援サービスもご提案します。

館内の1階南側は、ひと息つける癒やしのスポット。県内外の文化情報を集めた「文化情報コーナー」の奥に、ペーカリー&カフェ「GALLERY」が新しくオープン。ある時は焼きたてパンを買いに、また、ある時は半期で入れ換わる常設展示を鑑賞してアットな時間を楽しまに。リニューアルしたグランシップで、新しい価値を暮らしの中に見つけてみませんか。



グランシップサポーターも新しい制服でお迎え

## FROM GRANDSHIP グランシップ全館 リニューアルオープンに寄せて

これからも、グランシップを県民のみなさまの文化活動の拠点としてご利用いただき、公演やイベントをお楽しみいただける場となるよう、記念コンサートのほか、様々な機会をご用意しております。みなさまのご利用、ご来館をお待ちしております。



指揮：大勝秀也



ソプラノ：森 麻季



管弦楽：富士山静岡交響楽団

中ホール・大地の13か月ぶりの再開を  
静岡が誇るオーケストラと日本を代表する歌姫の共演で華やかに彩ります。

グランシップ全館リニューアル記念コンサート

今回のコンサートの指揮者は、オーケストラはもちろん、音楽家から絶大な信頼を寄せられている大勝秀也マエストロ。2017年、映画監督・河瀬直美氏が初めてオペラ演出に取り組んだ、全国共同制作オペラ『ブッチーニ／歌劇『トスカ』』では、広上淳一マエストロが東京・金沢、大勝マエストロが新潟・富山・沖縄と、共に指揮をつとめ、大きな話題となりました。

また、透明感のある清らかな歌声で世界中の人々を魅了しているソプラノの森麻季さんは、満を持してグランシップ初登場。オーケストラと織りなす叙情的で美しいアリアの響きに期待ください。

富士山静岡交響楽団は、演奏活動や音楽普及活動を全県域に展開し地域文化の向上に努め、2020年12月には定期演奏会100回記念の東京公演を盛況のうちに開催。浜松フィルハーモニー管弦楽団との合体を経て、さらに磨きかけた音色で、名実ともに静岡県を代表するオーケストラです。ベートーヴェンの交響曲第7番は、「英雄」や「田園」のように標題こそついていませんが、ドラマや映画で映像化されたためカントービレ』のテーマ曲としても知

10/2(土) ■ 14:00~ ■ 中ホール・大地

■ 一般2,000円 小学生1,000円 ※未就学児入場不可

〈出演〉指揮：大勝秀也 管弦楽：富士山静岡交響楽団 ソプラノ：森麻季

〈曲目〉♪ ベートーヴェン：交響曲第7番イ長調作品92

♪ グノー：歌劇「ファウスト」より「宝石の歌」

♪ ロッシーニ：歌劇「セミラーミデ」より「美しい光が」

♪ ベッリーニ：歌劇「ノルマ」より「清らかな女神よ」 他

※曲目は変更になる場合がございます。

記念コンサート  
イベントページ



られ、リズミカルで聞き手をわくわくさせる人気曲です。

初めてのオーケストラ公演にもおすすめのコンサートです。みなさまどうぞお聴き逃しなく！



時には文化・アートに触れる時間を作りませんか。最新のチラシや会館などの情報誌がラインアップ。定期的にチェックしよう。

### 県内の文化情報が満載！ 1階「文化情報コーナー」で芸術の秋の計画を／

県内で開かれるコンサートや舞台、講演会、作品募集などのチラシをはじめ、文化・アートの専門誌や書籍、写真集、絵本などを集めたインフォメーション&ライブラリー。情報収集だけでなく、ちょっと時間を調整したい時にもどうぞ。陽光が差し込む穏やかな空間で、文化・アートに触れるきっかけを探しませんか。

ここにも注目！

県内イベント情報や雑誌「音楽の友」「美術手帖」などがコーナー内で閲覧できます。



① 熟成湯だねブレッド24とチーズブレッドは事前のご予約を。  
② フルーツゼリープリンは今後、季節のフルーツも登場予定！  
③ スタッフ撮影のマンゴープリン×グランシップ。みなさんぜひ映える写真を！

### 焼きたてパンの香り漂う“旅するキッチン” 「bakery&cafe GALLEY」がニューオープン／

「GALLEY」とは、船内キッチンのこと。そんな“旅するキッチン”で、焼きたてパンとチーズ料理はいかが？おすすめは、湯だね製法で熟成させて焼き上げた熟成湯だねブレッド24とチーズブレッド（主にテイクアウト、WEB予約可）。しっとりもちもち、“耳”まで柔らかくクセになりそう。チーズインバゲットのハンバーグもぜひ。

■ 営業時間／11:00～18:00  
定休日／グランシップ休館日  
パンの焼き上がり／熟成湯だねブレッド24 11:00・13:00・15:00、チーズブレッド 12:00・14:00  
※掲載情報と内容が変わる場合があります

ここにも注目！

グランシップ東側駐車場  
32台分が一般利用  
(レストラン優先区画)  
できます。入庫11:00～22:00



## RENEWAL! HOW TO USE 3 グランシップの新たな価値をみなさまに。 文化・アートを身近に、気軽に立ち寄れる空間へ

ロビーやライブラリー、カフェ…。館内の空間が織り成す「ひととき」も文化施設ならではの。気軽に思い思いの時間を過ごしてみませんか。



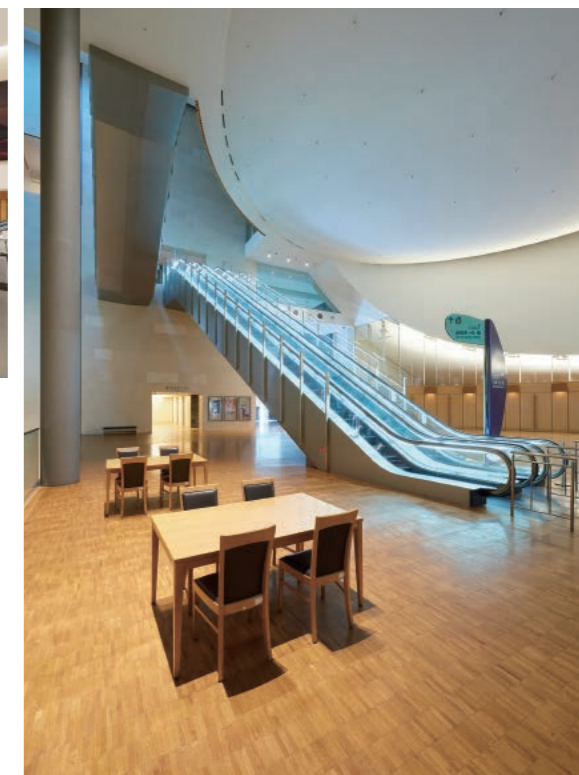
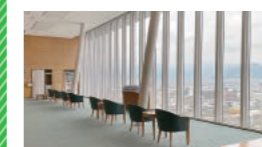
1階ロビーでは「Art@東静岡」を定期開催。9/22(水)からは美術家 千葉広一氏の作品を展示。

### グランシップに訪れる皆さんに心身ともに休まるひとときを 館内のパブリックスペースは、どう生まれ変わった？／

グランシップの“顔”、1階ロビーは、静岡県を拠点に活動するアーティストの作品を展示するオープン・ギャラリーでもあります。この秋、名称も新たに「Art@東静岡」として再スタート。年2組のアーティストの作品を、半年ごと展示します。作品は1階ロビーの他、ショーウィンドウ、3階等にも展開。館内の至る所でいつでも気軽にアートに触れられます。また、3階の落ち着いたロビーには、休憩スペースを新設。コンサートや舞台の終演後に興奮冷めやらぬ思いを語り合うなど、さらに楽しめる空間に。

ここにも注目！

10階展望ロビーから  
新幹線や在来線に貨物駅が  
冬は富士山が一望できます。



館内でもひとときわ個性的な3階ロビー。天井が高く、開放的な気分。

多くの演奏家がコンクールの入賞を経て華やかな道を歩む中、演奏活動を軸に国際的な舞台へと登りつめた実力派ピアニスト。活動内容も実に独創的です。これまでの演奏家人生や来年1月のリサイタルの聴きどころなどをうかがいました。



## 音楽とは自然にあるもので、必要なもの。 音自体が音楽なんです。

### 小菅 優

— 東京都の緊急事態宣言が解かれた7月はじめ、ドイツに戻る直前の小菅優さんにお話をうかがいました。10歳からドイツで暮らし、日本とドイツを行き来しながら演奏活動を続けています。静岡にも何度か訪れていて、お茶好きなのが判明。和やかな雰囲気でお話から始まりました。

— 初めてピアノを弾いたのは、お母さまの膝の上だったそうですね？

— ピアノを弾く前から母の膝の上でクラシックやジャズのレコードを聴いていたようです。なぜレコードに針を乗せるのが好きで…。(笑)

— 母は家でピアノを教えていましたが、母から教わったのはほんの少し。3歳から違う先生に習いました。子どもの頃からオーケストラが好きで、演奏会にもたくさん行きました。サントリーホールの開場時に鳴るオルゴールが好きだったので、母が必ずそれに間に合うように連れて行ってくれたことを覚えています。

— 国際コンクールの入賞を経て活躍する演奏家が多い中、演奏活動を主体に活動を続けてきたのは、どんなお考えがあったのでしょうか？

— 15歳の時に初めてCD録音の話をしていただいて、16歳の時に2枚目を録音して、という感じで同時にリサイタルも続けているうちに、これが私のやり方なのかなと。当時習っていた先生からも、「君はコンクールに出ないで、コンサートでやっていこう」と言われて、そのアドバイスも大

— 作曲家や楽曲に対して、深く解釈されている印象を受けますが。

— 私たち演奏家は伝達者なので、作曲家が何を求めていたか、作品の背景を知ることがとても大事なことだと思っています。だから、作曲家の本を読み、作品の時代背景を勉強します。そして、弾く前に全部捨てるんです。

— (一)小菅さんの中にすべて取り込まれて、血肉となったのですね。

— はい。コンサートはその場のアイデアや流れがあって弾きますので、解釈などが体に入った状態でなければと思っています。

— 昨今の活動が独創的ですね。例えば、アルバム『Four Elements』は水・風・火・大地の4元素をテーマに様々な作曲家の曲を収録しています。その意図とは？

— 『ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ全集』のシリーズと録音の時は、ベートーヴェンの哲学に触れる中で、人間の原点をみなさんと一緒に考えたい

— 去年1月のリサイタルは、『Four Elements』のダイジェスト的な要素もあるそうですね？

— はい。昨年、『Four Elements』リサイタルシリーズが終わり、2023年からは新しいリサイタルシリーズを始める予定です。その中間地点として、2022年は現在の私を表すリサイタルをすることで、今までのプロジェクトをふりかえりつつ、挑戦的でもあるプログラムがいいかと思っています。そう考えたら、拠点であるドイツの音楽とフランス音楽を休憩の前後に分け、演奏しようと思いました。『Four Elements』でテーマ別に取り上げたデュエッシーのプレリュードを一遍に弾く構成も楽しみの一つです。

— プログラム後半はベートーヴェンとシューベルト。聴き応えありますね。

— ベートーヴェンの『悲愴』はベートーヴェンの転機にあたるソナタ。そのあとシューベルトの『さすらい人』を弾くことで、ハ短調からハ長調へ、究極の

— 調性でつなぎます。

— こんなこと言うと、お客さまが来なくなってしまうかもしれませんが(笑)、シューベルトの楽曲には希望を感じられないというか、『さすらい人』は明るく思われがちの長調ですが、決して明るいわけではない。例えば第二楽章で出てくる長調のフレーズは短調よりもむしろ悲しい。幸せを求めて夢をみているけど幸せではなくて…。あまりにも美しいハイモニーの中に脆さを感じます。でも最終楽章では、人間の強さも感じられると思います。

— 未来へ勇気をただけそうですね。

— 音楽は直接的なものではないので、簡単に「音楽の力」や「元気を与える」などのきれいな言葉は使いたくありません。作品そのものが素晴らしいので、作曲家の考えを共有し、感じたり、考えたりすることは私たちに必要なことだと思います。

— どの曲も思い入れが強いそうですね。

— そうなんです。フランクのプレリュード、コラールとフーガは、日本では初めて弾く曲で、以前から弾きたくて、弾きたくて。フランクは、素晴らしい作品が晩年に集中していて、今回の曲もそのひとつです。教会で祈ることを想像できるような、究極の感情が表れていて、死を意識していたのではないかと思うほどです。尊敬するピアニストのラドゥルブルが以前、東京のオペラシティで弾いた時、信じられないくらい感動して、いずれ弾きたいなと思っていました。

— 今後、挑戦してみたいことは？

— 音楽を深めていきたいです。特に、企画にとっても興味があるので、お客さんに何を伝えたいかを考えて、プログラムングして。テーマ性やストーリーのあるリサイタルを作っていきたいですね。私自身がコンサートへ行くことが好きなので、「自分ならどんなコンサートに行きたいか？」と聞きます。

— 小菅さんにとって音楽とは？

— それこそ4元素と同じです。自然にあるもので必要なもの。音自体が音楽なんです。ミュンヘンに住んでいた頃、家の隣が森で毎日のように散歩していましたが、樹々の葉が風に揺れる音も、水が流れている音も音楽として体に入ります。

— 最後に、冊子の愛読者の方々にメッセージをお願いします。

— 今は、インターネットで何でも聴けると思われがちですが、私が体験して思ったのは、ライブは全然違うということ。久しぶりにオーケストラのコンサートに足を運んだ時、音が降ってくるのが嬉しくてたまらないんですよ。その場で体験することがどれほど素晴らしいかを知ってほしいので、ぜひ足を運んでいただきたいなと思います。

— 撮影中におもちゃのピアノを見つけた小菅さん。楽しそうに指を動かして笑顔がこぼれました。9歳から演奏活動を始め、とてつもない努力を

## Yu Kosuge 小菅 優 ピアニスト



現在最も注目を浴びている若手ピアニストの一人。9歳より演奏活動を開始。2005年カーネギーホールで、翌06年にはザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。アレクサンドル・ドミトリエフ、シャルル・デュトワ、小澤征爾等の指揮でベルリン交響楽団等と共演。10年ザルツブルク音楽祭でイーヴォ・ポゴレリッチの代役として出演。その後も世界的な活躍を続ける。14年に第64回芸術奨励音楽部門 文部科学大臣新人賞、17年に第48回サントリー音楽賞受賞。16年秋、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全集をリリース。17年秋～リサイタル・シリーズ『Four Elements』を開催。

**グランシップ  
リサイタル・シリーズ  
小菅優 ピアノリサイタル**  
2022年 1/14(金) 19:00～

- 中ホール・大地
- 一般3,800円 小童・学生1,000円

友の会先行販売	10/24(日)～
一般発売	10/31(日)～



前回の様子(静岡市民文化会館)



ヴァイオリン:郷古 廉 ©Hisao Suzuki



指揮:高関 健

管弦楽:富士山静岡交響楽団

## 静岡ガスPRESENTS

## グランシップ&amp;静響

## ニューイヤーコンサート vol. 20

新春にふさわしいワルツから隠れた名曲までたっぷり。ソロヴァイオリンとオーケストラの予測不能な会話に注目！

新春の幕開けを彩るニューイヤーコンサート。第20回目を迎える今回は、グランシップ大ホール・海を舞台に、「富士山静岡交響楽団」として迎える初めての年。華々しく皆さまをお迎えいたします。

今回の指揮者は、高関健さん(次頁インタビュー掲載)。待望の、グランシップ&静響「ニューイヤーコンサート」に初登場。また、国内外で注目を集める若手ヴァイオリニスト郷古廉さんをソリストに迎えます。

郷古さんは、2006年に第11回ユース・メニエーン青少年国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門で史上最年少優勝を飾り、翌年12月のデビュー以来、多くのオーケストラと共演。その後、2013年ティール・ヴァルガシオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝ならびに聴衆賞、現代曲賞を受賞。以前、高関さんが共演し、その実力を体感したことから、今回のソリストに推薦し

ました。指揮者お墨付きのヴァイオリニストが奏でるチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲は必聴です。大ホール・海はリニアルオープンを機に、音響設備を一部更新。コンサートの際には天井に吊り型の反響板を設置し、より良い響きをお届けします。また今回「ご家族のみなさま」で新年のコンサートに足をお運びいただけるよう、応募人数をこれまでの「2人まで」から、「4人まで」に拡大しました。

静岡を音楽で盛り上げるべく、地元企業と富士山静岡交響楽団、グランシップが協働で開催する本公演。初めての方も、クラシックファンの方も、新年のお楽しみに。スマートフォン対応のWEB申し込みが便利です。多数のお申し込みをお待ちしています！

2022年1/7(金) ■夜公演のみ 18:30開演 ■大ホール・海 ■2,000円 ※事前申込制、座席は抽選による配席。当選通知後、記載の期日までに支払、チケット受取。

〈出演〉指揮:高関 健 ヴァイオリン:郷古 廉 管弦楽:富士山静岡交響楽団

〈曲目〉♪チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35 ♪ヨーゼフ・シュトラウス/ホルカ・マズルカ「おしゃべりな女(ひと)」op.144

♪ヨハン・シュトラウス2世/喜歌劇「くるまば草」序曲 ♪皇帝円舞曲 op.437 ♪ワルツ「美しき青きドナウ」【ほか】 ※曲目は変更になる場合がございます。

申込方法 ■申込締切 2021年11月15日(月)必着

〈WEBからの申込〉グランシップホームページの専用申込フォームに必要事項を入力してください。

●チケット受取方法は以下3つの方法からお選びください。

A. グランシップチケットセンター(10:00~18:30/休館日を除く)  
B. ファミリーマート C. 郵便振替後に郵送(手数料、送料が別途かかります)

〈官製はがきによる申込〉右記参照

※重複応募、記入もれ等不備は無効。※応募者多数の場合は抽選。結果は、12月上旬ごろにはがきまたはメールにて連絡。※期日までに、手続きが完了されないチケットなどが発生した場合、一般販売を行います。一般販売の告知は、グランシップホームページに掲載します。

最新情報・WEB申込はこちらから



〒422-8019 静岡市駿河区東静岡  
グランシップ  
「ニューイヤーコンサート」係  
二丁目3番1号

63円

①郵便番号  
②住所  
③氏名  
④年齢  
⑤電話番号  
⑥申込人数(4名まで、小学生以上)  
⑦チケットの受取方法  
A~Cから1つ選択

高関 健  
独占インタビュー

2021年4月、静岡交響楽団と浜松フィルハーモニー管弦楽団が合体し、富士山静岡交響楽団が誕生。その首席指揮者に、日本を代表する指揮者の一人、高関健さんが就任されました。2018年から、楽団の前身である静岡交響楽団のミュージック・アドバイザーとして発展に寄与された高関さんに、ニューイヤーコンサートの聴きどころや静響の魅力などを語っていただきました。

「まずは、ミュージック・アドバイザーに着任された経緯や富士山静岡交響楽団(静響)の魅力についてお聞かせください。」

私を育ててくれた方の一人である宮澤敏夫さんが静響の専務理事に就任される時にお誘いいただいたことがきっかけです。静響はこの3年間ですごく発展しました。演奏が積極的になりましたね。「積極的」というのは、語り掛けるような演奏になったということです。技術面だけでなく、音楽家としての心構えも非常に成長していると感じています。

今年4月から浜松フィルハーモニー



管弦楽団と合体して、文字通り静岡県を代表するオーケストラとなり、演奏活動も幅広く展開しています。県内全域での演奏会やオペラ公演、中高生向けの演奏会…、これからさらに増えて、大きく成長していく状況にありますね。

「演奏会で磨かれていくのですね。オーケストラは本番(演奏会)を重ねることに上手になります。本番は、練習したことを発表する場ではありませんが、オーケストラ全体で互いを戦わせて演奏することによって上達するんですね。」

「静響が目指すところは?」  
日本を代表するオーケストラの一つになることです。

「お話は変わりますが、日本でもニューイヤーコンサートがずいぶん定着しています。その魅力とは?」

日本のニューイヤーコンサートは、「初詣やテレビだけでなく、コンサート」と、音楽家たちが一生懸命取り組んでいるコンサートで、幅広い方に楽しんでいただけるところが魅力です。聴きやすいプログラムが多いので、普段は音楽会にあまり足を運ばない方も、気軽な気持ちで親しんでいただけたらと思います。

「今回のプログラムは、その思いがなくても反映されていると感じました。」  
そう受け取ってもらえると嬉しいです。実はちょっとひねっていて、珍しい曲も入れているんです。例えば『くるまば草』はオペレッタの序曲で、本編はメジャーではありませんが非常に良い曲なので演奏しよう。『おしゃべりな女』も滅多に演奏されない曲です。最後の2曲はウィーンの伝統に習って、ということなんです。

「ウィナーワルツは、ブンチャットチャットという独特の伴奏に個性が表れるそうですね?」  
そこが面白いんですね。曲想によって3拍が均等ではなく、2拍目の「チャ」の位置が微妙に早くなったり、強くなったりします。オーケストラによって表現が違いますし、どのワルツもすべて違うんですね。

「前半は、郷古廉さんとの協奏曲ですね。」  
郷古さんとは以前、別のオーケストラで共演しましたが、素晴らしい演奏をしてくださいました。彼はすごく真面目で攻めるタイプの音楽家。演奏会ごとに様々な構想で臨んでくれるから、本番にベストをもつてくるために練習と本番で演奏が違ったりするけど、本番まで分からないから面白いんですね。良い意味で緊張感があります。でもワクワクする。今回もとても楽しみます。

「聴きどころは?」  
チャイコフスキーの協奏曲は、ヴァイオリンが曲想を変えてずっと弾き続けていくので、その妙技を聴くのがいちばんです。特に、第一楽章中盤のカデンツァ(独奏部)は聴きごたえがあります。

私たちオーケストラがけしきかけたり、その挑戦に郷古さんも応えていただいたり、特に第三章のオーケストラとソリストとの掛け合いは、手に汗にぎる展開になると思います。

「高関さんの具体的でわかりやすい

説明で楽しみになりました!最後に、冊子をお読みいただけます。

グランシップ&静響「ニューイヤーコンサート」の指揮は初めてですが、心をこめて演奏させていただきます。大ホールの特性を活かして、発展しつつある静響の音色を楽しんでいただければありがたいですね。

コロナ禍での一年半で静響は演奏会を開くことも難しく、オンラインなどの試みましたが、やはりホールでの生の演奏を聴いていただくことがいじばんだということを改めて感じました。その感動を体感していただきたいと思っています。ぜひ、会場にいらしてください。

富士山静岡交響楽団 首席指揮者

## 高関 健

桐朋学園在学中にカラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。ベルリンに留学しカラヤンのアシスタントを務め、タンゲルウッド音楽祭ではパーンスタイン、小澤征爾らに指導を受けた。国内主要オーケストラで重要ポジションを歴任。海外への客演でも活躍し、現在は東京シティ・フィル常任指揮者、富士山静岡響の首席指揮者など。第50回サントリー音楽賞(2018年度)受賞。



## OZONE 60



photo Kazuyoshi Shimomura (AGENCE HIRATA)

## 小曾根真 Christmas Jazz OZONE60 'THE SONGS'

日本が誇るジャズピアニストが  
特別な年に贈るステージ

このステージを心待ちにされていた方も多いのではないだろうか。2020年3月、小曾根真さんは自身が率いるビッグバンド「No Name Horses」の15周年記念公演としてメンバーと共にグランシップのステージに立つ予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により直前に公演中止。その後のステイホーム期間中、53日間にわたり、毎日夜9時に自宅から演奏動画を配信。楽しいおしゃべりを交えながらの演奏で、先が見えない不安や孤独に耐える人々の心を音楽で癒し、勇気付けました。音楽家にとって、演奏活動ができないというこの上なく辛い時期であっても、その時にできることを実行し、音楽への情熱や音楽家としての姿勢を行動で示してくれました。

ひ会場でお楽しみください。また、今回はゲストとして、ナチュラルで柔らかな歌声とギターが魅力の小野リサさんが登場します。心地よいヴォーカルとギターの音色に、小曾根さんのピアノが溶け合うハーモニーに身を浸す時間はまさに至福の時。共演はトロンボーン奏者の中川英二郎さんをはじめとする豪華メンバー。このスペシャルなコラボレーションをどうぞお聴き逃しなく。一年の終わりに、温かな気持ちで満たされるコンサートを、ご自身や大切な人へのプレゼントにしてみてください。



©Shinji Hosono 小野リサ

## 小曾根真 Christmas Jazz OZONE60 'THE SONGS'

12/10(金) 19:00開演 ■中ホール・大地 ■一般6,500円 子ども・学生1,000円

〈出演〉小曾根真(ピアノ)、スペシャルゲスト:小野リサ(ヴォーカル、ギター)  
中山拓海(サクソ)、中川英二郎(トロンボーン)、石川紅奈(ベース)、高橋信之介(ドラム)

## 60歳記念ソロ・ピアノ・アルバム『OZONE 60』

クラシックとジャズ、両方のOZONEワールドが楽しめる作品です。クラシック・サイド「CLASSICS + IMPROMPTU」は、モーツァルト、ラヴェル、プロコフィエフなどの名曲を、即興演奏を織り交ぜて演奏。ジャズ・サイド「SONGS」では、書き下ろしの曲を中心に、アルバム初収録となる8曲で構成されています。

2021 in 浜松  
しずおか連詩の会

詩人 四元康祐

photo by 志田三穂子

詩人 野村喜和夫

詩人 水沢なお

俳人 高柳克弘

作家 東直子

## グランシップ出前公演 2021年しずおか連詩の会 in 浜松

### ことばを紡ぎ、生まれる化学反応

連詩とは、連歌・連句の美学を下敷きに、複数人で短い詩をリレーのように連ねていく創作現代詩です。1999年からはじまった「しずおか連詩の会」では、5人の詩人が5行詩と3行詩を交互に手がけ、3日間40編の連詩を創作。発表会で完成した作品を、それぞれの作者が朗読し、詩に込めた思いや意味を、創作中のエピソードを交えて解説します。

今回は、3年ぶりに浜松市で開催。日本の現代詩をリードする詩人・野村喜和夫さんが「さばき手」を務めます。ともに言葉を紡ぐのは、詩人の四元康祐さん、歌人・作家の東直子さん、そして浜松市出身の俳人・高柳克弘さん、長泉町出身の詩人・水沢なおさんです。

連詩の醍醐味のひとつは「即興性」です。その時、その場所、そのメンバーだからこそ生まれる「ことば」の化学反応が、新しい世界となって立ち上がってきます。詩、短歌、俳句といったジャンルの垣根を超えて、5人の参加者がどのようなことばを連ねて共鳴させるのか、どうぞご期待ください。

毎年「ことば」って面白い！と、その魅力、不思議、奥深さに改めて気付かされたという感想が寄せられます。この機会に、みなさんも深淵なる「ことば」の世界に触れてみてはいかがでしょうか。



前回の様子

## グランシップ出前公演 2021年しずおか連詩の会 in 浜松

12/12(日) 14:00開演 ■アクティシティ浜松 研修交流センター2F 音楽工房ホール

■入場料:1,000円(チケット制)

〈出演〉野村喜和夫(詩人)、四元康祐(詩人)、東直子(歌人、作家)、高柳克弘(俳人)、水沢なお(詩人)

### 連詩-RENSHI- ことばの世界を体感しよう

発表会は作者自身による朗読が楽しみの一つ。目で読むだけでなく、聞くことによって、その面白さ、魅力がさらに加わります。耳を傾け、想像力を働かせることで「ことば」の奥行きが広がる瞬間に出合えるはず。音楽の街・浜松で開催する今回は、ぜひ「音」にも意識を向けて、日本語の様々な響きを「体感」ください。

vol.27 地域の芸能を、次代へ伝える自由

むかしも今も交通の要衝にある静岡県には、奈良京都はもちろん、東国の果てより持ち込まれた祭りの形が、温暖で豊かな風土に根をおろし、温暖で豊かな風土に育まれ、奇跡とも言えるべき有難さで伝承されております。

それを一堂に集め、次世代への伝承の意義を深めようという『ふじのくに伝統芸能フェスティバル』の三回にわたる公演が去る六月に開かれ、その素晴らしいことが、未だに感銘消えやらず、ここに改めて御報告せしめ居られませぬ。

昨年来の疫病の災いのせいで、前々から準備万端整えながら、当日の出演を辞退せざるを得なかった団体もあり、関係者御一同の御苦労がしのばれましたが、伊豆の国市の『田京三番叟』と伊東市の『湯川鹿島踊』という徳川時代から伝わる古風で貴重な芸能を拝見出来たことは仕合せでした。

『田京三番叟』は、現行の能楽の『翁』と基本的な構造はおなじですが、『ごかしら舞楽の『採桑老』を思わせる古風さがあり、うれしく拝見しました。

また、千歳を地域の小学生が伸び伸びとびびりつつも、同じく三番叟を中学生が

颯爽快活の趣きで舞い納めるのを見て、その初々しさに眼がしらの潤むような感興をおぼえたことです。

なんでも、千歳の役を済ませた少年が、次には三番叟をつとめるのが田京の習いであると聞きました。が、芸能の稽古の面ばかりではなく、少年時代における人格形成の面からも、こうした昔ながらの方式は現実的で価値あるものと感じました。

その証拠に舞台の袖で、千歳役の小学生に「どうして入ろうと思ったの」と聞きますと、「初めて見た時にカッコイイと思ったから」と答えましたが、なるほど、こうした気持ちから観念では生れぬ郷土愛も芽生え、御年寄たちに指導される過程で、地域の自治への自覚が身に付くのであります。

『湯川鹿島踊』は、昔言えは若者組を構成する青年男子たちで一切が営まれる神事らしい、キビキビとした、たくましく、気組みの揃った勢いがありました。

申すまでもなく、常陸国鹿島神宮の神人による疫神送り、海路の波に送られて各地に伝わったもの、一つであります。が、この湯川の鹿島踊りは鉦や太鼓を用いず、青年たちの声だけでつとめ

るのが特長で、そこに何とも言えぬ清浄な力強さと艶があり、これを奉る神さま仏さまはもちろん、見物する娘さんたちの魂を揺さぶったことでしょう。

加えて、浜松市の『横尾歌舞伎』で活躍する小学生による『曾我の対面』の一節や、駿河総合高校和太鼓部と太鼓芸能集団『鼓童』の共演など、若者たちが自分に与えられた役を生き活きと演じる姿は頼もしく、すでに大人の風貌で舞台に立つのを見て、良き稽古のもらす精神的な成長の眼本を目にするようでした。

このほかに、今回、やむなく出演を見送られた『富士宮囃子』と『西島の神楽』(山梨県身延町)は映像で紹介されましたが、どの保存会の方も「私たちは先達より習った昔とりの形を変えず、次代に伝えて行きたい」と仰言るのは聞きどころでした。

なぜなら、同じ芸能とは言え、食うために絶えず目を変えなければならぬ興行物とは一線を画し、地域の神仏つまり先祖に奉仕し、自分たちも共に楽しむという潔癖で自由な民俗芸能の信条があらわれていたからであります。

伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。 岩下尚史

今、グランシップが、文化芸術が、できること。  
静岡県文化プログラム  
ふじのくに伝統芸能フェスティバル  
～今、地域の芸能を次世代につなぐために～

来場するお客様の安全と安心、文化芸術に触れる場を守ること。大切な二つのことを守るために私たちは考え続けています。



6/6(日)長泉町文化センターペルフォーレ

子どもたち、若い世代が  
庄巻のパフォーマンス

静岡県文化プログラムとして、2019年3月から全3回のプログラムとして開催した「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」。2020年5月に富士宮市で開催予定だった3回目は、新型コロナウイルスの影響により約1年後の2021年6月に長泉町で延期開催しました。

日本には室町時代から残る能楽をはじめとして多彩な芸能が生まれ地域の信仰として息づいているものから興行として行われているものまで、各地で様々な形態で発展してきました。特に各地域で伝承される民俗芸能は過疎化や少子化などの問題を抱えながらも、地域の人々の努力により連続と継承されてきました。しかし、コロナ禍においては、小さなコミュニティでの活動でさえ停止せざるを得ない状況になり、その課題がより深刻化しています。



田京三番叟(伊豆の国市田京区)

そこで最後の開催となる「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」では、コロナの影響により苦境に立たされたながらも次世代への芸能の継承に思いを強く持ち活動する地域の団体が登場。その地道な継承活動の紹介とともに魅力あふれる芸能を披露いただきました。

また、芸能の未来を担う世代を代表して静岡県立駿河総合高校の和太鼓部が、新潟県佐渡市を拠点に世界で活躍する太鼓芸能集団「鼓童」と共演しました。共演に向けて、3月と5月には鼓童メンバーが来静して学校で稽古を実施。さらに、ZOOMを用いたオンラインでの稽古を重ねていき、太鼓の技術だけではなく、舞台芸能と向き合うことの厳しさと覚悟を学びました。今回は鼓童の住吉佑太さんが駿河総合高校和太鼓部のため



湯川鹿島踊(伊東市湯川自治会)

にオリジナル曲を作曲。鼓童との稽古を通して、生徒たちは芸能の灯が未来まで輝くようその願いを込めて、『燦』という曲名をつけました。

短期間の稽古でしたが、生徒たちの演奏は見違えるほど上達。本番の共演では庄巻のパフォーマンスを披露し、客席からは大きな拍手が送られました。

公演当日は、コメンテーターとして登場した作家の岩下尚史さんが、次ページのコラムで当日の様子をご報告くださいました。地域のお祭りなどが中止されている今だからこそ、子どもたちや若い世代が伝統を継承している姿はまわりの人も元気にしてくれます。

グランシップでは、これからも県内各地に文化芸術をお届けしていきます。

オリジナル曲『燦』(駿河総合高校和太鼓部と鼓童の共演)



『寿曾我対面』の一場面(横尾歌舞伎保存会)



岩下尚史さんはコメンテーターとして登壇司会の久保ひとみさんと軽妙なトークで会場を盛り上げた

TV・ラジオでコメンテーターとしても活躍。  
作家・岩下尚史氏のコラムが好評連載中。



岩下尚史(いわしたひさふみ)作家、國學院大學客員教授、新橋演舞場(株)退社後、芸者の発生と変遷について著した『芸者論』にて、新人としては異例の第二十回和辻哲郎文化賞を受賞し、本格的な作家活動を開始。その他、三島由紀夫の恋人への取材を書き下ろした『見出された恋』、『ヒタメン』などの著作がある。また、日本の伝承芸能や古典的な暮らしについてのエッセイ等も多数著している。現在、季刊『美しいキモノ』(ハースト婦人面報社)、「北國新聞」にてエッセイを連載中。また、現在、新刊発表に向け、鋭意執筆中。





# 2021年10月～12月 グランシップイベントカレンダー

グランシップ企画事業において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、公演を急遽、変更・中止する場合や、〈お客様へのお願い〉の内容を変更する場合があります。必ずグランシップホームページで最新情報をご確認の上、ご来場ください。なお、貸館催事の実施につきましては、それぞれの主催者にお問い合わせください。

**11/3 [水・祝]** その他  
**オータムダンスパーティー**  
 ■6階交流ホール ■14:00～17:00  
 ■1,000円  
 ダンシンググレース tel.090-9023-6935

**11/3 [水・祝]～7 [日]** 展示  
**第69回  
静岡県高等学校美術・工芸展**  
 ■6階展示ギャラリー1  
 ■10:00～19:00 (最終日は15:00まで)  
 静岡県高等学校文化連盟美術・工芸専門部  
 tel.054-334-0431 (清水南高校 福元)

**11/3 [水・祝]～7 [日]** 展示  
**第68回授業作品展**  
 ■6階展示ギャラリー2  
 ■10:00～19:00 (最終日は15:00まで)  
 静岡県高等学校美術・工芸教育研究会  
 tel.0537-22-7255 (掛川工業高校 片瀬)

**11/6 [土]** 就職  
**合同企業面談会 シゴトフェア**  
 ■大ホール・海 ■12:00～17:00  
 (株)アルバイトタイムス  
 tel.054-653-3383

**11/10 [水]** 進学  
**大学・短期大学・専門学校  
進学説明会**  
 ■大ホール・海 ■16:00～18:30  
 (株)昭栄広報 名古屋支社  
 tel.052-385-2089

**11/15 [月]** 就職  
**高校生JOBフェア**  
 ■大ホール・海 ■13:30～16:00  
 静岡労働局 職業安定課  
 tel.054-271-9958

**11/17 [水]** 講演会  
**第19回静岡市社会福祉大会**  
 ■中ホール・大地 ■13:00～16:00  
 (社福)静岡市社会福祉協議会  
 tel.054-254-5213

**11/20 [土]** 講演会  
**第49回  
日本頭痛学会総会主催  
市民公開講座**  
 ■6階交流ホール ■14:00～16:00  
 事務局(株)サンプラネット  
 メディカルコンベンション事業部  
 tel.03-5940-2614

**10/10 [日]** グランシップ企画事業 舞台  
**グランシップ全館リニューアルオープン記念  
人形浄瑠璃 文楽**

■中ホール・大地 ■昼の部13:30～/夜の部18:00～  
 ■昼の部:「一谷嫩軍記」～熊谷桜の段～熊谷陣屋の段  
 夜の部:「曾根崎心中」～生玉社前の段～天満屋の段～天神森の段  
 ■1階席3,800円 こども・学生1,000円 昼夜通し券6,840円 2階席2,000円

県内唯一の文楽公演。三味線の鶴澤清治(人間国宝)や人形遣いの桐竹勘十郎(人間国宝)の出演も。昼の部と夜の部の間には、チケット購入者限定の「わかる!文楽入門講座」もお楽しみに!  
 グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



写真:青木信二



**10/24 [日]** 音楽  
**ふじのくに芸術祭2021  
邦楽演奏会**  
 ■中ホール・大地 ■13:00～  
 静岡県三曲連盟事務局  
 tel.054-237-6602 (久保田)  
 静岡県文化政策課 tel.054-221-2254

**10/17 [日]** 音楽  
**Mindy&Sacra  
Autumn Concert**  
 ■中ホール・大地 ■14:00～  
 ■1,000円  
 Sacra (代表 森) tel.090-9894-0303

**10/30 [土]** イベント  
**2021ロボットアイデア甲子園  
静岡県中・東部大会**  
 ■11階会議ホール・風 ■13:00～17:00  
 三明機工(株) tel.054-366-0088

**10/22 [金]・23 [土]** 講演会  
**第145回  
日本航海学会講演会・研究会**  
 ■10階1001-1会議室 他  
 ■10:00～17:00  
 ■会員2,000円 非会員3,000円  
 学生非会員1,000円  
 賛助会員・学生会員無料  
 (公社)日本航海学会 tel.03-3630-3093

**10/23 [土]・24 [日]** 展示  
**ジョイフル恵利振袖展示会**  
 ■6階展示ギャラリー3 ■10:00～18:00  
 ジョイフル恵利静岡店  
 tel.0800-200-7537

**11/2 [火]** イベント  
**新技術交流イベント in Shizuoka 2021**  
 ■大ホール・海 ■10:00～17:00  
 静岡県交通基盤部建設経済局技術調査課 tel.054-221-2131

**10/7 [木]～9 [土]** その他  
**ファランドール(花もめん)  
オータムフェア**  
 ■6階展示ギャラリー2  
 ■7日10:30～17:00、8日10:00～17:00  
 9日10:00～16:00  
 ファランドール tel.0120-771-908

**10/8 [金]** 就職  
**学生のための  
地元就職フェア in しずおか**  
 ■大ホール・海  
 ■12:00～16:00  
 静岡労働局 職業安定課  
 tel.054-271-9958

**10/9 [土]** オンライン受講可 講演会  
グランシップ企画事業  
**グランシップ全館リニューアルオープン記念  
グランシップ文化講座  
世界が目撃する「米中情勢」**  
 ■10階1001-2会議室・オンライン  
 ■13:00～16:30  
 〈第一部〉  
 アメリカは中国をどのように見ているか  
 コーディネーター・講師  
 久保文明(防衛大学校長、東京大学名誉教授)  
 〈第二部〉中国問題と米中関係  
 講師 国分良成(慶應義塾大学名誉教授)  
 〈トークセッション〉久保文明×国分良成  
 ■会場・オンライン受講同額  
 一般1,000円 学生500円(28歳以下)  
 ◎高校生以下無料  
 ※事前申込制(会場は定員になり次第締切)  
 グランシップチケットセンター  
 tel.054-289-9000

**10/10 [日]** イベント  
**SHIZUOKA  
ダンスコレクション in 2021**  
 ■大ホール・海 ■12:00～17:00  
 ■1,000円  
 静岡県ダンススポーツ連盟  
 tel.090-3550-1744 (実行委員長 伊藤)

**10/1 [金]** グランシップ企画事業 舞台  
**グランシップ全館リニューアルオープン  
能楽特別公演「一人翁」山階彌右衛門  
「祝言之式 高砂」観世芳伸**  
 ■中ホール・大地 ■18:30～ ※関係者向け  
 県文化財団文化事業課 tel.054-203-5714

**9/25 [土]～10/3 [日]** 展示  
**ふじのくに芸術祭 美術展**  
 ■6階展示ギャラリー  
 ■10:00～17:00 (最終日は16:00まで)  
 静岡県文化政策課 tel.054-221-2254

**10/2 [土]** グランシップ企画事業 本誌P7の詳細をチェック! 音楽  
**グランシップ  
全館リニューアルオープン記念コンサート**

■中ホール・大地 ■14:00～  
 ■一般2,000円 こども・学生1,000円

グランシップのリニューアルオープンにふさわしい華やかなコンサートをお楽しみください。



管弦楽:富士山静岡交響楽団

指揮:大勝秀也  
 管弦楽:富士山静岡交響楽団  
 ソプラノ:森麻季

〈曲目〉  
 ベートーヴェン:交響曲第7番  
 イ長調作品92  
 グノー:歌劇「ファウスト」より  
 “宝石の歌”  
 ロッシーニ:歌劇「セミラーミデ」より  
 “麗しい光が”  
 ベッリーニ:歌劇「ノルマ」より  
 “清らかな女神よ” 他  
 グランシップチケットセンター  
 tel.054-289-9000



指揮:大勝 秀也

ソプラノ:森 麻季

**10/3 [日]** 音楽  
**ザ・スイング・ハード**  
**第56回リサイタル**  
 ■中ホール・大地 ■17:30～  
 ■1,000円  
 音楽舎 tel.054-265-2930

**10/3 [日]** 就職  
**しずキャラセミナー  
インターンシップ&仕事研究**  
 ■10階会議室 ■12:00～17:00  
 (株)SJC tel.054-281-5566

**10/7 [木]～11 [月]** 展示  
**第43回静岡県日本画展**  
 ■6階展示ギャラリー1・3  
 ■10:00～17:00 (最終日は13:00まで)  
 静岡県日本画連盟 tel.0537-22-9817

**10/3 [日]** 音楽  
**Super Brass Orchestra  
17th Live**  
 ■6階交流ホール ■13:30～  
 ■1,000円  
 スーパー・ブラス・オーケストラ ホームページ

**12/20** [月] その他

**第42回  
世界健康フォーラム2021・静岡  
「健康寿命はみんなで延ばせる  
一食環境で日本を元気に!」**

■中ホール・大地 ■13:00~16:45  
■オンライン配信、DVD販売のみ  
オンライン配信2,100円(30人以上1,600円)  
DVD2,100円 プログラム1,100円  
(特非)世界健康フロンティア研究会  
tel.0798-43-0099

**12/20** [月]~**22** [水] その他

**ファランドール(花もめん)  
クリスマスフェア**

■6階展示ギャラリー2  
■20日10:30~17:00 21日10:00~17:00  
22日10:00~16:00  
ファランドール tel.0120-771-908

**12/23** [木] 音楽

**7校合同吹奏楽  
ウインターコンサート2021**

■中ホール・大地 ■17:00~21:00  
■前売300円  
静岡東高校吹奏楽部  
tel.054-261-6636(静岡東高校 中本)

**12/26** [日] その他

**ダンスアワード2021**

■6階交流ホール ■14:00~21:00  
■5,000円  
プロムナードダンス教室  
tel.054-265-8161

公演中止

**10/15** [金]

グランシップ出前公演(浜松市)  
ウィーンの風~ウィーン木管五重奏団  
■アクトシティ浜松 中ホール

**11/23** [火・祝]

グランシップ出前公演(袋井市)  
フィンランド発  
驚異のハーモニカ・カルテット スヴェング  
■袋井市月見の里学遊館 うさぎホール

**11/25** [木]

グランシップ出前公演(沼津市)  
ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団  
ブラスアンサンブル  
■沼津市民文化センター 大ホール

**12/11** [土] 講演会

**日本食品科学工学会中部支部大会及び市民フォーラム**

■11階会議ホール・風 他 ■13:00~17:00  
日本食品科学工学会中部支部 tel.052-261-8670

**12/12** [日] 講演会

**【グランシップ出前公演】  
2021年しずおか連詩の会 in 浜松**

■アクトシティ浜松 音楽工房ホール ■14:00~ ■1,000円

5人の言葉の表現者が織り成す40編の創作現代詩を、本人の解説とともに披露します。

〈参加者〉  
野村喜和夫(詩人)  
四元康祐(詩人)  
東直子(歌人・作家)  
高柳克弘(俳人)  
水沢なお(詩人)

グランシップチケットセンター  
tel.054-289-9000



前回の様子

**12/12** [日] 講演会

**小児・AYA世代がん医療公開講座**

■10階1001-2会議室 ■14:00~16:00  
静岡県立こども病院 小児がん相談室  
tel.054-247-6251

**12/15** [水]~**19** [日] 展示

**ふじのくに芸術祭  
写真展/学生アートフェスティバル**

■6階展示ギャラリー  
■10:00~17:00(最終日は15:30まで)  
静岡県文化政策課 tel.054-221-2254

**12/19** [日] 音楽

グランシップ全館リニューアルオープン記念  
**親子で楽しむ浜響クリスマスコンサート  
~お話と音楽によるくるみ割り人形~**

■大ホール・海 ■14:00~  
■一般1,000円 子ども・学生(小学生以上大学生以下)500円 ※未就学児無料

子どもから大人まで気軽に楽しめるクラシックコンサート。クリスマスにちなんだプログラムをお届けします。

指揮:松岡究  
管弦楽:浜松交響楽団  
ヴァイオリン:長尾春花  
サクソフォン:須川展也  
語り:田辺一邑

〈曲目〉  
チャイコフスキー:バレエ音楽「くるみ割り人形」作品71(ハイライト) 他

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



©高橋五郎スタジオ

**12/1** [水] 音楽

**“Six Unlimited  
コンサートツアー2021”  
スーパースターの企て season.2~**

■中ホール・大地 ■18:30~ ■7,500円  
(株)静岡リビング新聞社 tel.054-255-1231

**12/5** [日] 音楽

**ふじのくに芸術祭 合唱コンクール**

■中ホール・大地 ■10:30~  
静岡県文化政策課 tel.054-221-2254

**12/5** [日] 進学

**ふじのくに海外留学応援フェア**

■9階910会議室 他 ■12:00~16:30  
静岡県スポーツ・文化観光部  
総合教育局大学課 tel.054-221-3749

**12/9** [木]~**12** [日] 展示

**第30回 愛護ギャラリー展**

■6階展示ギャラリー  
■9日14:00~17:00 10日~12日9:00~17:00  
静岡県知的障害者福祉協会  
tel.054-254-6341

**12/10** [金] 音楽

**グランシップ企画事業**  
本誌P12の詳細をチェック!

グランシップ全館リニューアルオープン記念  
**グランシップ プレミアム・  
クリスマス・ジャズ・ライブ**  
**小曾根真Christmas Jazz  
OZONE60‘THE SONGS’**

■中ホール・大地 ■19:00~  
■一般6,500円 子ども・学生1,000円

60歳の節目を迎えるジャズ・ピアニスト小曾根真が贈る熱いステージ。  
スペシャルゲスト:小野リサ(ヴォーカル、ギター) 他  
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



©Kazuyoshi Shimomura(AGENCE HIRATA)

**11/26** [金]・**27** [土] その他

**第26回静岡健康・  
長寿学術フォーラム**

■11階会議ホール・風 他  
■26日9:30~16:20  
27日10:00~16:30  
静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会  
tel.054-264-5156

**11/20** [土] 講演会

**第26回日本口腔顔面痛学会主催  
市民講座 後援)日本痛み財団  
「お口の粘膜に痛みを生じる病氣  
~舌がん?舌痛症?~」**

■9階908会議室 ■12:45~13:45  
静岡市立清水病院 口腔外科  
第26回日本口腔顔面痛学会学術大会  
大会事務局内  
tel.054-336-1111(大会準備委員長 高森)

**11/27** [土] 舞台

**グランシップ全館リニューアルオープン記念  
にっぽんこども劇場 ~講談わんだーらんど~**

■6階交流ホール ■13:00~/15:00~  
■事前申込制 おとな1,500円 子ども(4歳~)500円(対象年齢4歳~)  
※公演当日3歳以下無料

日本の話芸のひとつ「講談」を見て、聞いて、体験しておよこで伝統芸能を楽しもう!講談の歴史や独特な表現など講談の基本を実演を交えてご紹介。体験コーナーでは講談のテキストにチャレンジしよう!  
出演:宝井琴星、宝井琴鶴



宝井琴星

宝井琴鶴

**11/27** [土] イベント

**グランシップ全館リニューアルオープン記念  
グランシップ  
冬のおくりもの2021  
オープンシアターデー**

■大ホール・海 他 ■13:00~(予定)  
■入場無料

オリジナルクリスマスツリーのお披露目やミニコンサート、ワークショップなど、小さな子どもから大人までグランシップをたっぷり楽しめます。

グランシップチケットセンター  
tel.054-289-9000



前回のクリスマスツリー(2019年)

**11/28** [日] 音楽

グランシップ全館リニューアルオープン記念  
**ねむの木学園のこどもたちコンサート  
~まり子おかあさんの心とともに~**

■中ホール・大地 ■14:00~  
■1,000円(2歳以下ひざ上鑑賞無料)

こどもたちが まり子おかあさんからおそわった心で みなさまにうたってダンスをしてとどけます  
やさしくね やさしいことはつよいのよ  
出演:ねむの木学園のこどもたち

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



グランシップ  
子どもアート体験！  
学校プログラム

たくさんのお子たちに  
本物の芸術をお届けする、  
アウトリーチ活動を実施しています。



「グランシップ  
誰もがWonderfulアート」  
関連アウトリーチ  
「貼り絵ワークショップ」

2021.6.3(木)  
静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田分校  
高等部1年生 生徒11名

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、県民の皆様にも多彩な文化芸術を体験する機会を多く持つていただくため、国内外の芸術家や静岡ゆかりのアーティストによるコンサートやワークショップなど、多様な形態のアウトリーチ活動を各地の文化施設や学校で積極的に実施しています。今回は、裾野市を拠点に活動する美術作家・福井揚さんが、県立沼津特別支援学校伊豆田分校の生徒の皆さんと貼り絵ワークショップを行いました。

福井さんの「まずは、素材を触ってみよう」の声掛けを受けて、貼り絵のパーツとなる様々な色・形・質感の布やフェルトに触れてみることからスタート。最初は緊張していた生徒たちの表情が徐々に和らいでいきます。次に、創作イメージを膨らませるため、福井さんが生まれ育った止揚学園の作品について、その魅力やどのようにつくられたのかを紹介。いよいよ、生徒たちは作品づくりに取り掛かります。好きな素材を自由に使い、1m四方の段ボールの上に自由に貼り付けます。福井さんからは「自分のやりたいようにストーリーをつくってみよう」「疲れたな、という時に一度手を止めて距離を取って眺めてみる」などと一人一人に寄り添いアドバイスを送られました。

最初はぜんぜん作れると思わなかったけれど、できて良かった。もう一度やりたい。(生徒)



一人で自由に貼り絵をするのが初めてだったので楽しかった。(生徒)

作品が完成したら、それぞれがどんなイメージで作品をつくれたかを共有しました。先生からは、各々が自分の思いを素直に表現できていて、「上手に作るう」「いい作品を作ろう」という気負いがなく、自然であったことが、生徒の自由な発想を活かしながらプラスの方向にもっていく働きかけがとても良かったとの感想も。生徒たちは、講師と関わりながら作品を作ることでアーティストとの交流を図り、学校の美術の時間とは異なる表現の楽しさを、アートの自由な楽しみ方の一つとして体験できたのではないのでしょうか。

生徒一人一人が創作意欲を持てるような言葉かけ、作品作りのストーリー(イメージ)を持てるような支援のあり方がとても参考になった。(先生)



生徒の表現を何でも受け入れてくれたので、生徒が自分でも驚くほどに集中して取り組めたのだと思う。(先生)



このワークショップで貼り絵が好きになった。(生徒)

こどもに、大人に、きちんと伝えよう 地域の文化

文化芸術は人をつくり、まちをつくり、未来をつくります。  
県内各地で優れた文化活動を行っている団体をご紹介します。

三島宗祇法師の会

三島市

●文芸(詩、短歌、俳句等) ●代表/藤岡武雄

中世から伝わる誇り高い三島の文化を発信しよう

公家の間で密に行われていた古今和歌集の解釈を秘伝する「古今伝授」が、初めて民間人の飯尾宗祇に伝えられた場所が三島。その故事を尊び、「古今伝授のまち三島」を伝え広めようと発足しました。毎月定例会や勉強会を開き、会員による連歌の解釈や宗祇が3日で独吟した「三島千句」を研究。シンポジウムや講話、資料展示、連歌実作会等も開催しています。様々な人に古今伝授を触れてもらおうと、他文化との連携活動にも意欲的。「三島暦の会」、「三島茶碗文化振興会」とのウォーキングイベントでは、古今伝授にまつわる市内の名所・旧跡をめぐる予定です。会の将来を見据え、次世代へのアウトリーチ事業に取り組み始めています。



古今伝授が行われた場とされる三島市願成寺での定例会。プロジェクターで連歌を映し出し、皆で解釈を共有しています。

掛川市子どもの読書活動を考える会

掛川市

●文化支援(文化を支える活動) ●代表/土井幸弘

読書のチカラで子どもたちの健やかな成長を、未来を

「子どもたちの健やかな成長を願い、読書活動を薦めよう」を合言葉に、元教職員や現役教職員、学校図書館ボランティアの参画を得て、市民活動としてスタートしました。掛川市中央図書館との協働による学習会をはじめ、学習会の報告やブックレビューなどを盛り込んだ会報誌の発行、行政事業の支援として読み聞かせの効果の説明、ブックリストを配布するなど、幅広く展開。会の重点事業として、「月齢別・学年別に読み聞かせたい絵本リストづくり」、「学校図書館の蔵書整理」にも取り組んでいます。活動を将来につなぐため、読み聞かせボランティア初心者講座なども実施。地域が一丸となって、子どもの未来を支えています。



市内各所で読み聞かせを開き、読書に触れる場を創出。平成26年には静岡県図書館大会「読書県しずおか」づくり優秀実践団体表彰を受賞。







アーツカウンシルしずおか  
ARTS COUNCIL SHIZUOKA

# アーツカウンシルしずおか

県民主体のアートプロジェクトの情報はアーツカウンシルしずおかから引き続き発信していきます。よろしくお願いします。

## アーツカウンシルしずおかとは

- 1 まちづくりや観光、国際交流、福祉、教育、産業など社会の様々な分野と、文化芸術との協働を促進し、地域資源の活用や社会課題に対応する創造的な取組（アートプロジェクト）を支援する組織です。
- 2 アートプロジェクトを進めるための助言やネットワークを生かしたコーディネート等の支援を、専門家であるプログラム・ディレクターやコーディネーターが行っています。

## アートプロジェクトを支援しています。

アーツカウンシルしずおかでは、社会の様々な分野の担い手がプロデューサーとなり、地域資源や社会課題を顕在化させ、地域活性化や課題への対応を目指すアートプロジェクトを支援しています。令和3年度は採択した22団体について、経費の一部を助成するとともに、プログラム・ディレクターやコーディネーターが団体のニーズに応じた助言等の支援を行います。

※令和4年度の助成事業の募集は、令和3年12月頃を予定。アーツカウンシルしずおかのホームページで告知するのでご確認ください。

9/26[日]・10/16[土]・17[日]  
《熱海未来音楽祭》  
第3回熱海未来音楽祭

熱海在住のアーティストを中心に、街中で「即興の魅力」に遭遇できる音楽祭を開催します。ダンスやボイス、口琴を使ったワークショップなども実施します。



開催場所：起雲閣音楽サロン、EOMO store、熱海サンビーチほか  
交通機関：起雲閣は熱海駅より徒歩20分、またはバス利用「起雲閣前」もしくは「天神町」下車  
お問い合わせ：Tel.0465-63-0578  
ホームページ：http://www.makigami.com/atamimirai.html

10/14[木]-11/28[日] ※月・火・水 休業  
《原泉アートプロジェクト》  
原泉アートデイズ! 2021  
～相互作用～

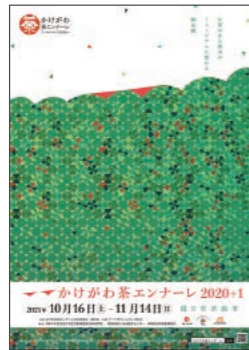
国内外から芸術家を招聘し、掛川市最北部の原泉地区で滞在制作を行う現代アートの展覧会を開催します。作品鑑賞の他、パフォーマンスやワークショップ、アートストアでのお買い物等もお楽しみいただけます。



開催場所：掛川市原泉地区全域（受付会場：旧原泉第2製茶工場、旧田中屋）  
交通機関：JR掛川駅より、掛川市バスで約30分  
お問い合わせ：haraizumiart@gmail.com  
ホームページ：https://haraizumiart.com/

10/16[土]-11/14[日]  
《かけがわ茶エンナーレ実行委員会》  
かけがわ茶エンナーレ2020+1

かけがわ茶エンナーレは、「茶・茶産地×アート」の視点から、掛川の魅力を見出す芸術祭。2021年は「超日常茶飯事」をテーマに、アーティストと市民と地域が一つになって、まちの日常と向き合い、まちのあたりまえに新しい息吹を吹き込みます。



開催場所：掛川市内各所  
お問い合わせ：掛川市役所 文化・スポーツ振興課  
Tel.0537-21-1126  
ホームページ：https://www.chaennale.jp/

11/21[日]-23[火・祝]  
《一般社団法人 熱海怪獣映画祭》  
第4回熱海怪獣映画祭

怪獣映画と縁のある熱海で「怪獣の聖地・熱海」のブランド化を図る映画祭を開催します。第4回目となる今回は怪獣絵画コンクール等、市民も参加可能なプログラムも実施します。



開催場所：国際観光専門学校熱海校ほか  
交通機関：JR熱海駅よりバス10分  
お問い合わせ：info@atamikaiju.com ホームページ：https://atamikaiju.com/

新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催状況が変更になることがあります。事前にホームページ等でご確認ください。

## アーツカウンシルしずおかの情報はHPやSNSで発信しています。

アーツカウンシルしずおかのホームページでは、助成団体の活動状況やイベント案内、県内で活躍しているアーティストの情報やセミナーの開催告知などを掲載しています。その他、アートプロジェクトの主催者、アーティストや文化拠点の運営者など、県内を中心に文化芸術を軸に活動を行う方をサポートする相談窓口を設置しているので、相談を希望される方はホームページの専用フォームからお問い合わせください。

お問い合わせ 〒422-8019 静岡県駿河区東静岡2丁目3番1号  
TEL:054-204-0059 FAX:054-288-8180  
HP https://artsCouncil-shizuoka.jp/



Facebook



Twitter



Instagram



# 静岡ブンプロ通信

静岡県文化プログラムの活動状況をお届けしてきた本コーナーも今回が最終回。ご愛読ありがとうございました。

静岡県では東京2020オリンピック・パラリンピックをスポーツの祭典だけではなく文化の祭典として盛り上げるため、2015年から「静岡県文化プログラム」の推進に取り組んできました。「地域とアートが共鳴する」をテーマに積み重ねてきたブンプロの成果は、そのレガシーとして設置された「アーツカウンシルしずおか」に引き継がれます。

## 全国的プログラム

ふじのくに野外芸術フェスタ2021静岡  
宮城聡演出SPAC公演「アンティゴネ」

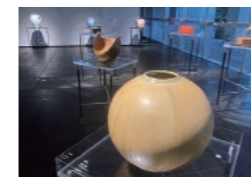
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が実施する「東京2020 NIPPONフェスティバル」のうち、自治体等と連携して行う「共催プログラム」として、海外でも高く評価されたSPACの代表作「アンティゴネ」を、静岡市の駿府城公園で上演しました。ギリシア悲劇に日本人の死生観を重ねた独自の解釈と、水を張った巨大な舞台や俳優の影を映し出す圧巻のスペクタクルに、満員の観客は魅了されました。



撮影：猪熊康夫

## 県域プログラム

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、静岡ならではの文化資源を活用したプログラムにより静岡県の文化の魅力を発信しました。



「手の愉悦～革新する工芸」展、関連企画「先端技術展」（静岡文化芸術大学）手仕事に焦点を当て、「ものづくり県」静岡ゆかりの工芸作家による33の工芸作品、並びに県内企業の優れた技術を紹介



静岡県郷土唱歌を歌おう（静岡県郷土唱歌を歌おう実行委員会）「静岡県郷土唱歌」を世代を超えて歌い継ぐ、静岡県児童合唱団を中核とした合唱とオーケストラによる公演



舞踊と音楽と演劇の祭典「ふじのくにものがたり」（ふじのくにものがたり実行委員会）富士山かくや姫伝説を題材とした舞踊音楽劇等、ふじのくに静岡の舞踊と音楽と演劇による総合芸術の祭典



忠臣蔵2021 (SPAC) 10代から80代までの幅広い世代の一般公募参加者43名とSPAC俳優・スタッフらにより創り上げられた野外劇



ふじのくに伝統芸能フェスティバル（静岡県文化財団）コロナ禍においても地域の芸能を次世代につなぐために、静岡県を中心とした伝統芸能団体が多彩な芸能を披露



ふじのくに各流大茶会（ふじのくに各流大茶会実行委員会）抹茶・煎茶の各流派が集結し、「茶の都」静岡のお茶文化に触れることができる大茶会

## 地域密着プログラム

### プログラム・コーディネーターによるブンプロの振り返り

- 1 静岡県文化プログラム推進委員会では「地域とアートが共鳴する」をテーマに、県民が担い手となり、地域に根ざした取り組みを展開する先進性・独創性のあるプログラムを公募。平成29年から令和2年まで、合計70件を支援してきました。（H29:13件、H30:12件、R1:19件、R2:26件）
- 2 公募により採択したプログラムは、文化芸術分野の専門家であるプログラム・コーディネーターによる助言などの支援を実施。
- 3 まちづくり、福祉、教育、観光、産業など社会の様々な分野との連携を目指したプログラムの支援を通じ、地域資源の顕在化や新たな担い手の発掘が促進され、文化芸術に親しむ人の裾野の拡大や地域の活性化につながりました。



鈴木 一郎さん  
文化芸術がいていい地域に密着することで、関わった人たちの魅力が花開くなど思いました。それは、人真似でない独自の物事を興そうという気概の現れであり、地域や社会につなげようとするその人なりの表現と言えることかもしれません。



北本 麻理さん  
コーディネーターとして、私自身としても、アートや表現の力を信じ事業を興す方々との出会いは大きな財産です。静岡にとっても大きな大きな財産です。そして、現代を生きる全人類の財産となり、後世の遺産となることでしょうか。



門脇 幸さん  
「文化、芸術」は特別なことでなく、それぞれの地域で芽吹き、育まれ、そして変化していく。決して大きくなるのが目的でなく、生活に寄り添っているものであると再認識した、関わった3年間のブンプロでした。



佐野 直哉さん  
地域密着プログラムは、社会課題・地域課題に対してアートを通して県民自らがその地域に社会に変化を生み出していくこと、つまりアートと県民の新しい関係を作っていくことが目的でした。ブンプロの実践が引き継がれ、静岡がますます文化で先駆的な存在になるのが楽しみです。



立石 沙織さん  
分野を越えた様々なプログラムを通して、「地域資源」とは地域そのものの魅力であると同時に、そこで暮らす人々の何気ない日常の豊かさなのだと思ひました。ここで蒔かれた種が芽となり、花となっていくように今後も応援していきたいと思ひます。

# 静岡県富士山世界遺産センター & ふじのくに地球環境史ミュージアム



10/2[土] ▶ 11/7[日]

令和3年度 秋季特別展  
シリーズ江戸文化のなかの富士山4  
**家康+富士山**  
—新発見「富士三保清見寺図屏風」をめぐる一考察—

家康とおぼしき人物が描かれています。



同一画面中に富士山と徳川家康を描いた「富士三保清見寺図屏風」を初公開。合わせて狩野派による富士山絵画や徳川将軍家に伝わった家康の肖像画を一堂に展示。

観覧料/一般:700円、団体:600円、70歳以上:200円、その他:無料(常設展観覧料含む)

富士三保清見寺図屏風 センター蔵 四代木村了瑠筆 天海賛 東照大権現像(部分) 徳川記念財団蔵

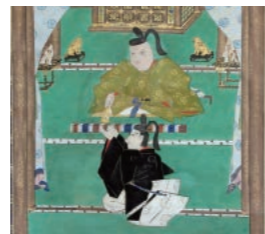
**研究成果** 富士山と徳川将軍の政治・文化的関係についての研究成果をお見せします!



富士三保清見寺図屏風(部分)  
屏風絵の画中に描かれた人物を、大御所として駿府で過ごした時代の徳川家康と推定。その背後に広がる物語を読み解く。



白描東照大権現像(部分)徳川記念財団蔵  
徳川将軍家に伝えた家康像のひとつ。歴代将軍像や豊臣秀吉像との比較から家康生前の姿をリアルに伝える像と推定。



東照大権現霊夢像(部分)徳川記念財団蔵  
家康と対面する人物を描いた不思議な作品。三代将軍徳川家光が家康との一体化を願って絵画化させたものと推定。

徳川家康と富士山の深〜い関係をご覧ください!



松島 仁  
静岡県富士山世界遺産センター教授

**CHECK HERE!!**  
新発見屏風に秘められた物語を読み解け!  
富士山とともに徳川家康が描かれた17世紀に遡る作例として現存唯一の屏風を初公開するとともに、そこに繰り広げられるストーリーをひもとく。  
合わせてさまざまな家康像を一堂に集め、その画像の意味を読み解く。

**関連イベント** 《スペシャルトーク》

大御所家康の文化力とグローバリズム  
そして「徳川の平和」

〈日 時〉10月17日(日)10時30分~12時00分  
〈料 金〉無料  
※要事前予約:100名先着順、申込の詳細については、センターHPをご確認ください。  
〈会 場〉富士宮市民文化会館2階小ホール(富士宮市宮町14-2)  
〈講 師〉  
徳川家広氏(徳川記念財団理事長、徳川宗家第19代当主)  
タイモン・スクリーチ氏(国際日本文化研究センター教授)  
松島 仁(静岡県富士山世界遺産センター教授、徳川記念財団特別研究員)  
大御所時代の家康は、駿府を本拠に積極的な外交や文化事業を展開し、250年余に及ぶ「徳川の平和」の礎を築いた。本鼎談では大御所時代の徳川家康の文化力とグローバリズムについて語りつくす。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止または内容を変更して実施する場合がございます。



9/4[土] ▶ 11/7[日]

第4回ふじミュージー写真展

テーマ しずおかを彩る自然と生き物

今年で4回目となる“みんなで創る企画展”ふじミュージー写真展。身近な自然に目を向けるきっかけとなることを願い毎年開催する企画展で、事前に開催した写真コンテスト(キャッチコピー:私が百年後に残したい“ふじのくに”―静岡の人と自然―)の入賞・入選作品を展示しています。本年度のテーマは「しずおかを彩る自然と生き物」。全413点もの応募作品を厳選し、入賞・入選した101点(一般部門81作品+ジュニア部門20作品)の力作をご紹介します。撮影者が切り取った「百年後に残したい“ふじのくに”」の自然の色を、ぜひご堪能ください。

期間中開催 《ふじミュージー写真展講演会》

「自然写真の精神」

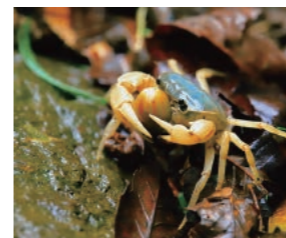
〈日 時〉11月7日(日)14:00~15:30  
〈料 金〉無料(観覧料のみ)先着100名(要事前予約)  
申込みの詳細はミュージアムHPをご確認ください。  
〈会 場〉ミュージアム2F 講堂  
〈講 師〉永幡嘉之氏(自然写真家)

世界のブナの森を歩き、東日本大震災後の自然を歩いて撮り続けてきた永幡氏。自らを自然写真家と名乗る氏は、「写真は記録手段のひとつにすぎないが、自然史資料としての大きな可能性を秘めている」と言います。自然の歴史や人との関係性を掘り下げ、里山の消失という社会問題の最前線を歩き続ける氏が、自然写真が果たす役割、そして将来への可能性を語ります。

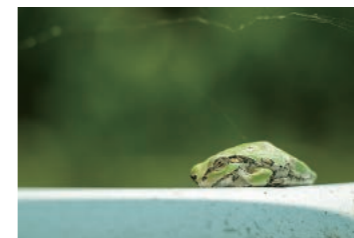


永幡 嘉之氏(自然写真家)

グランプリ作品はこれ!



一般部門:グランプリ  
撮影者:稲葉絹子 タイトル:冬支度



ジュニア部門:グランプリ  
撮影者:齋藤早良 タイトル:安堵

**CHECK HERE!!**

応募作品数も急増で盛りあがってます!

内容が充実し、審査員の先生方も選抜に苦勞された今回の写真コンテスト。写真展では、撮影者の想いあふれるその素晴らしい作品群をご覧ください。同時開催の企画展「県勢標本」で期間限定展示される話題の駿河湾産深海魚「ヨコヅナイワシ」標本も、お見逃しなく!



渡川 浩一 学芸部長兼教授

同時開催中 開催中 ▶ 11/7[日] 観覧料/常設展観覧料で御覧いただけます。

県勢標本—「静岡発」自然史コレクションから見えるもの—



静岡県ゆかりの自然史標本「県勢標本」。地域が誇る名だたる自然物の実際の標本を、秘められた逸話とともに読み解き、静岡県とはどのような土地なのかを考えます。



※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止または内容を変更して実施する場合がございます。

静岡県富士山世界遺産センター

富士宮市宮町5-12 電話番号/0544-21-3776 開館時間/9:00~17:00(最終入館16:30)(7・8月 9:00~18:00 最終入館17:30)  
休 館 日/毎月第三火曜日、施設点検日  
観 覧 料/一般300円、団体(20名以上)200円/人、15歳未満・70歳以上・学生・障がい者等(要証明)無料

ふじのくに地球環境史ミュージアム  
Museum of Natural and Environmental History, Shizuoka

ふじのくに地球環境史ミュージアム

静岡市駿河区大谷5762 電話番号/054-260-7111 開館時間/10:00~17:30(最終入館17:00)  
休 館 日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は次の平日)  
観 覧 料/大人300円、団体(20名以上)200円/人、大学生以下・70歳以上・障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。  
展示室1・2と図鑑カフェは無料でご利用いただけます。

# SPAC秋→春のシーズン2021-2022

秋から始まるSPACのレギュラーシーズン。  
静岡芸術劇場で、多彩な舞台をお楽しみください。  
下田市・磐田市での公演もございます。

SPACでは、お客様に安心してご観劇いただくため、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底して公演を実施いたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みとお客様へのお願い



『みつばち共和国』(2020年) ©K.Miura

## #1 チケット販売中

### みつばち共和国

ハチの世界はまじめで神秘的?!みつばちの一年を描いた、大人も子どもも楽しめる幻想的な作品。『青い鳥』で有名な作家メーテルリンクのエッセイ『蜜蜂の生活』を元に、プロジェクトンやダンスを巧みに取り入れて創られた舞台です。

〈静岡公演〉10/2[土]・3[日]・9[土]・10[日]・23[土]・24[日]  
各日14:00開演 会場:静岡芸術劇場

〈下田公演〉11/27[土] 14:00開演 会場:下田市民文化会館 大ホール

メーテルリンク作『蜜蜂の生活』に基づく  
作・演出:セリーヌ・シェフェール  
出演:たきいみき、永井健二、仲村悠希  
声の出演:木内琴子

ファミリー割引あり



ダニエル・ジャンストー演出『ガラスの動物園』(2011年)より ©K.Miura

## #2 10/2チケット一般発売

### 桜の園(新作)

5年ぶりに故郷に帰ってきた女主人のラネーフスカヤ。彼女の一家は、かつては裕福だったがいまや破産寸前。ついには一家の土地である美しい桜の園が競売にかけられ…。ロシアの劇作家チェーホフの傑作を、優く美しい劇世界に仕立てます。

〈静岡公演〉11/13[土]・14[日]・20[土]・21[日]・23[火・祝]・28[日]  
12/12[日] 各日14:00開演 会場:静岡芸術劇場

〈磐田公演〉12/3[金] 13:30開演 会場:磐田市竜洋なぎの木会館 大ホール

演出:舞台美術:ダニエル・ジャンストー 作:アントン・チェーホフ  
翻訳:アンドレ・マルコヴィッチ、フランソワーズ・モルヴァン(仏語)、安達紀子(日本語)  
出演:鈴木陽代、布施安寿香、ソレーヌ・アルベル、阿部一徳、カンタン・ブイッサー、オレリアン・エスタジェ  
小長谷勝彦、ナタリー・クスネツォフ、加藤幸夫、山本実幸、アクセル・ボグスラフスキー、大道無門優也、大内米治

## 「SPAC秋→春のシーズン」公演チケット

チケット料金	一般	1公演 4,200円	チケット購入方法	電話予約	SPACチケットセンター (10:00~18:00、休業日10/16・12/7を除く)
	ゆうゆう割引 学生割引	1公演 3,500円 [満60歳以上] 1公演 2,000円 [大学生・専門学校生] / 1,000円 [高校生以下]		ウェブ予約	TEL:054-202-3399 https://spac.or.jp/ticket

## ふじのくに野外芸術フェスタ in 御殿場/下田

まちがステージ! 広場や公園、路上など、身近な場所で演劇に出会えるお祭り。

入場無料  
予約不要

〈御殿場公演〉11/6[土] 会場:国立中央青少年交流の家  
in アークラ大サーカス

〈下田公演〉11/7[日] 会場:道の駅開国下田みなと横  
(まどが浜海遊公園)

※開演時間未定。決定次第公式サイトで発表します。

【お問い合わせ】SPACチケットセンター TEL.054-202-3399 (10:00~18:00、休業日10/16を除く)



ふじのくに野外芸術フェスタ2020 in 掛川 ©Hirao Masashi



公演の詳細はSPAC公式サイトをご覧ください。【SPAC公式サイト】<https://spac.or.jp>

Twitter 公式アカウント

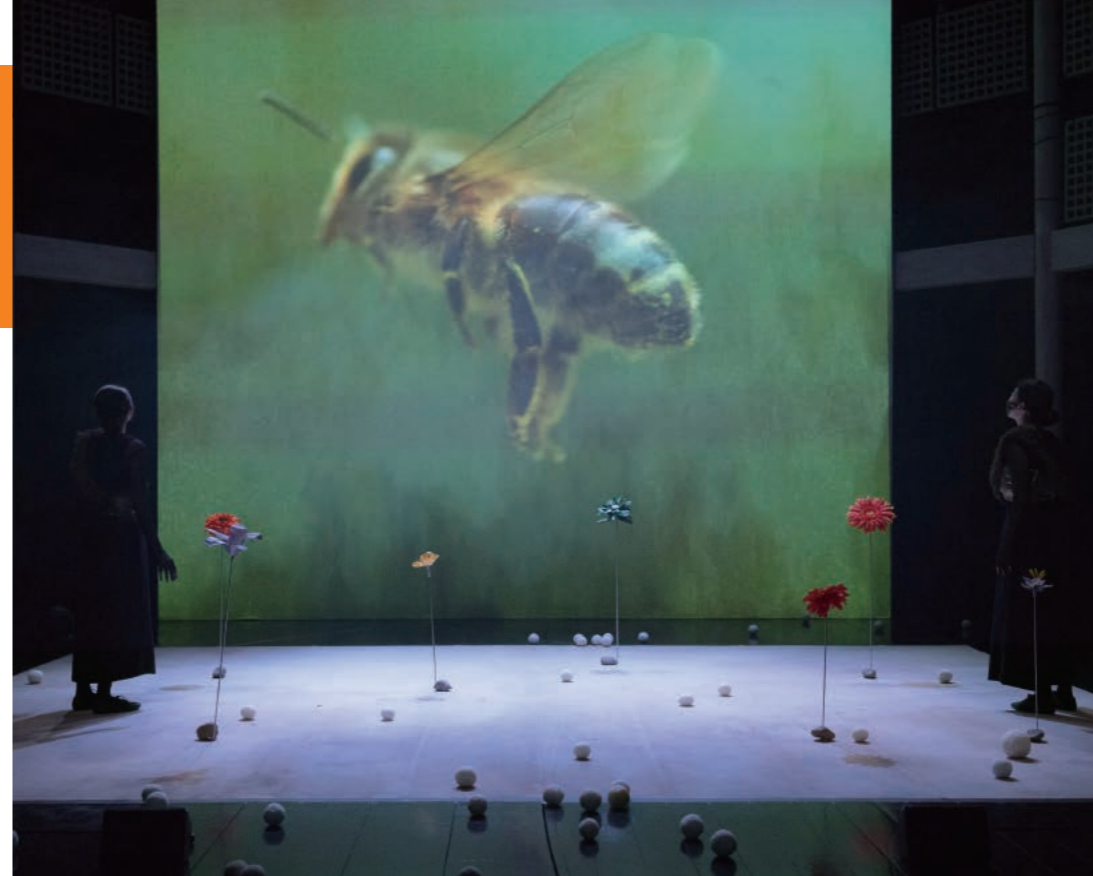
@\_SPAC\_

Instagram 公式アカウント

@spacshizuoka

Facebook公式ページ

<https://www.facebook.com/SPACshizuoka>



『みつばち共和国』(2020年) ©K.Miura



## セリーヌ・シェフェール Céline Schaeffer

演出家、ビジュアル・アーティスト。フランス生まれ。造形美術を学び1995年より演出助手として舞台に関わり始め、演劇・言語・美術を横断する創作で注目される。2019年カンパニー・メロドロームを設立、フランス・アヴィニョン演劇祭で本作を創作・初演し、反響を呼んだ。

## 『みつばち共和国』—— 制約の中でも「生きたアート」を創る。

「蜜蜂の生態と神秘に迫る幻想的な演劇作品『みつばち共和国』。フランス人演出家セリーヌ・シェフェールさんが2019年にフランスで初演した本作を、昨年、SPACが日本版として共同制作し、自然に囲まれた舞台芸術公園の屋内ホール「楢田堂」で上演しました。大人も子どもも楽しめる舞台作品として、静岡芸術劇場に登場します。

「まず、この作品がフランスでどのように創られたのか、教えてください。」  
『みつばち共和国』はメーテルリンク『青い鳥』などで知られる『蜜蜂の生活』というエッセイを起点に創作した舞台作品です。四季折々の自然の変化に寄り添いながら、蜜蜂の生活や生態、さらにはその営みを通して、自然のあり様や暮らし、どのように脅かされているのかも描いています。

創作の際は、四季を通して蜜蜂の生活を追ったりしました。また、舞台上に巣箱を置いてみたり。そしてメーテルリンクが書いた「詩の言葉」を響かせてみて、そこに宿る細やかな感覚・感性というものを舞台上に現す、そういうところを目的として創っていきました。作品では、照明・効果音・音楽のほかプロジェクト・サウンドデザインなど様々なジャンルの技術も使っています。

「風になびく木々を大きく映し出したり、蜜蜂の羽音など、映像や音がとても印象的です。」  
映像と音は、この作品の核心部分にあるものとして、最初からイメージしていました。

「感染拡大の影響でセリーヌさんは来日できず、演出上の制約もある中で作品創りとなりました。」  
SPACからオンライン会議アプリZoomを使ったの創作を提案された時、最初は「無理だ」と思いました。演劇は、フランス語で「生きたアート」と

「その印象がすごく鮮やかだったので、音楽家には重要なテーマとして『巣箱で本音が鳴っている音も使いたい』ということを伝えました。そして、友人にお願いして、巣箱に小さなマイクを仕込んでもらい、中の音を録音しました。ですから、作中の音は、実際に巣箱の中で鳴っている音そのものだったり、楽器の音と組み合わせたりしたものです。」

「2021年は、早くも静岡芸術劇場で再演されます。」  
お客様との距離が近い「楢田堂」のような小さな劇場で、お客様の存在を感じ、関係を築きながら上演できたことは、とても良い経験になりました。一方で、静岡芸術劇場のような空間でしか出せないスケール感というものもあって、そこに蜜蜂の共和国が立ち上がるのがとても楽しみです。

「感染防止対策で、フランス版の演出を変えなければならぬことも大きな試練でした。でも、その状況だからこそ違うアプローチで作品を創れるのではないかと発想を切り替え、衣裳にマスクを組み込んだり、台詞を発する俳優は話す位置を固定するなど、身体表現の制約を逆手に取った演出を試みました。」



演出のセリーヌ・シェフェールさん © Céline Schaeffer



## 風景と人間

風景を見て、ああ美しいと感じることが誰にでもありますね。しかし、山にせよ海にせよ、あるいは都市や日常生活の何でもない光景にせよ、風景というものはじめにあって、それをどこか別の場所から人間が見ているのではありません。人間が見ることで、それらは風景になるのです。意味が生じる。そして、そこにかたちを与えると美術が生まれてくる。驚異、畏怖、感嘆、安堵など、人間のこころは、古来さまざまな風景表現を生み出してきました。

静岡県立美術館は「風景の美術館」を目指して出発し、今年で35周年を迎えました。この間に集積した2700点余の美術品から飛び切りの名品66点を選び、ご覧に入れます。なぜ山と向き合うのか、なぜ都市を描くのか、なぜ物語を伝えようとするのか、それぞれの風景をさまよって歩くうちに、表現者たちのこころにも向き合うことになるでしょう。お楽しみください。



静岡県立美術館館長 木下 直之



《富士三保松原園屏風》(右隻) 16世紀後半(室町時代)

### 《会期中のイベント》

#### 講演会「風景と人間、それとも人間の風景か」

講師：木下直之(静岡県立美術館館長)

日時：11月20日(土)午後2時～午後3時30分

場所：美術館2階講座室 聴講料：無料(要観覧料)

定員：30名(先着順。当日午後1時から美術館入口で整理券を配布。開場は午後1時30分)



石田徹也《燃料補給のような食事》1996(平成8)年



佐伯祐三《ラ・クロッシュ》1927(昭和2)年

観覧料：一般1,000円(800)円、高校・大学・専門学校生700円(560)円、70歳以上500円、小・中学生以下無料

※中・高・大・専門学校生、70歳以上の方は身分証をご提示ください。

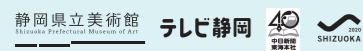
※70歳以上の方は当日券のみ販売。美術館窓口でお求めください。

※障害者手帳等お持ちの方及びその介護者1名は無料。 ※各割引は併用できません

中日新聞販売店、チケットぴあ(セブン-イレブン・びあ店舗にて購入可能、Pコード685-800)、ファミリーマート店舗(Famiポートにて「静岡県立美術館超名品展」にて検索)

※前売券の販売は10月13日(水)～11月12日(金)まで。

主催：浜松市、静岡県立美術館、中日新聞東海本社、テレビ静岡 協賛：セキスイハイム東海



## 浜松市美術館

〒430-0947 静岡県浜松市中区松城町100-1 [浜松城公園内] TEL.053-454-6801

静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2  
総務課Tel.054-263-5755 Fax.054-263-5767  
学芸課Tel.054-263-5857 Fax.054-263-5742

ウェブサイト…<http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

静岡県立美術館 検索



ポール・ゴーガン《家畜番の少女》1889年



クロード・モネ《ルーン川のセーヌ川》1872年

# 静岡県立美術館 超名品展 風景と人間

会場：浜松市美術館

会期：2021年11月13日(土)～12月19日(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

「天・地・人」をテーマに人間と向き合う展覧会  
静岡県立美術館の開館35周年を記念して、浜松市美術館を会場に特別版のコレクション名品展を開催します。風景表現を主要な柱に立て形成されてきた県立美術館のコレクションは、現在27000点以上になりました。浜松出身の県立美術館館長・木下直之が監修者として、郷土の美術館のために県美コレクションから選りすぐった名品の数々を、惜しみなくご覧いただきます。

今回は、そのエッセンスをご覧いただくために、「天・地・人」という観点から人間と向き合う展覧会に仕立てました。なぜ、人間はさまざまな造形表現を展開してきたのか。作り手のやむにやまれぬ欲望から、逆に、人間を超えた存在に引き寄せられて、あるいはその時々々の社会の求めに応じて、表現の動機もスタイルも多種多様です。誰に向けて、何のために美術はあるのか、美術の不思議に迫ります。

## グランシップ企画事業 10～12月のチケット発売情報

※2021年9月現在の情報です。新型コロナウイルスの影響により、公演やイベントを急遽、変更・中止する場合があります。発売日を変更する場合があります。

**雛の宴～五人囃子のひなまつり～**  
2022年2/19(土) 14:00～ 6階交流ホール  
一般2,800円 こども・学生1,000円  
友の会先行販売 11/7(日)～ 一般発売 11/14(日)～

**NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト  
フルオーケストラによる完結編  
シリーズⅢ ロマン派から印象派へ+**  
野平一郎 静岡トリロジーⅢ「瞬間と永遠の歌」  
2022年3/6(日) 17:00～ 中ホール・大地  
S席7,500円 A席6,500円 こども・学生1,000円  
友の会先行販売 12/12(日)～ 一般発売 12/19(日)～

**グランシップ寄席 ～三遊亭圓歌・柳家三三 二人会～**  
2022年3/13(日) 14:00～ 6階交流ホール  
一般3,800円 こども・学生1,000円  
友の会先行販売 12/12(日)～ 一般発売 12/19(日)～

**本と音楽の素敵な出会い「羊と鋼の森」**  
2022年3/18(金) 19:00～ 中ホール・大地  
一般3,800円 こども・学生1,000円  
友の会先行販売 12/12(日)～ 一般発売 12/19(日)～

※今後の感染状況により、イベントにおける収容人数制限についてのガイドラインに順じ配席(販売数)を変更する場合があります。

**TICKET** グランシップ企画事業の公演チケットは、以下の方法でお求めいただけます。(ご購入の際には、友の会へのご入会がオトクです。)

グランシップWEBサイトから

https://www.granship.or.jp/  
https://ykk1.ka-ruku.com/granship-s/



パソコンまたはスマートフォンで、グランシップWEBサイトのトップページの「チケット」から、空席状況に応じて好きな席をお選びいただけます。(要事前登録、無料)

チケットの受取  
コンビニ(セブンイレブン、ファミリーマート:手数料無料)、郵送(送料420円)、電子チケット(手数料無料)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)

お電話で

グランシップチケットセンター  
TEL.054-289-9000(10:00～18:30)※休館日を除く  
チケットの受取 コンビニ(ファミリーマート:手数料無料)、郵送(送料420円)、  
グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)

グランシップチケットセンター窓口で

グランシップ内チケットセンター窓口(10:00～18:30)※休館日を除く  
チケットの受取 お支払い(現金またはクレジットカード)後、その場でチケットをお渡します。

## PRESENT 『GRANSHIP』vol.27 読者アンケートプレゼント

### グランシップ オリジナルグッズ (内容はお楽しみに!)

2名様

『GRANSHIP』vol.27のアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、グランシップオリジナルグッズを2名様にプレゼントいたします。郵便はがきまたはメールで、住所・氏名・性別・職業・電話番号・アンケートのお答えをご記入の上、下記までお送りください。



[1] 今号でよかった記事は? [2] 本誌へのご意見・感想をお聞かせください。アンケート内容は、今後の誌面作りの参考とさせていただきます。尚、頂いた個人情報プレゼントの発送にのみ使用します。締切は2021年11月15日(当日消印有効)です。

官製はがき宛先 〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号  
グランシップマガジン『GRANSHIP』vol.27 プレゼント係  
メール宛先 info@granship.or.jp  
(件名に、『GRANSHIP』vol.27 読者アンケート係 とご記入ください)

編集後記 10月1日グランシップ全館リニューアルオープンに合わせて、館内のフロアガイドもリニューアルを予定。ご来館の際は、ぜひ新しいフロアガイドを手に館内巡りをお楽しみください。

**グランシップ リサイタル・シリーズ 小菅優 ピアノリサイタル**  
2022年1/14(金) 19:00～ 中ホール・大地  
一般3,800円 こども・学生1,000円  
友の会先行販売 10/24(日)～ 一般発売 10/31(日)～

**世界のこども劇場2022 (WINTER)**  
2022年1/15(土)～17(月) 大ホール・海 他

〔にっぽんこども劇場 能楽わんだーらんど〕  
2022年1/16(日) 大ホール・海 対象年齢:4歳以上  
おとな1,500円 こども(1歳～中学生)500円 ※0歳児無料  
友の会先行販売 10/24(日)～ 一般発売 10/31(日)～

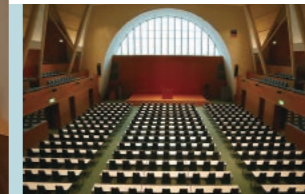
**グランシップ静岡能**  
2022年1/22(土) 14:00～ 中ホール・大地  
一般5,500円 こども・学生1,000円  
友の会先行販売 10/24(日)～ 一般発売 10/31(日)～

【グランシップ出前公演(菊川市)】  
**京都市交響楽団 名曲コンサート 横山幸雄(ピアノ)**  
2022年1/29(土) 14:00～ 菊川文化会館アエル 大ホール  
S席4,800円 A席3,800円 こども・学生1,000円  
友の会先行販売 10/24(日)～ 一般発売 10/31(日)～

**グランシップ ヴァレンタイン・ジャズ・ライヴ akiko**  
2022年2/11(金・祝) 14:00～ 6階交流ホール  
一般4,500円 こども・学生1,000円  
友の会先行販売 11/7(日)～ 一般発売 11/14(日)～



# 貸館 インフォメーション



[11階]会議ホール・風

## 雄大な景色を望む会議ホール・風

グランシップ最上階には二層吹き抜けの開放感ある空間、会議ホール・風が位置しています。レイアウトも自在で、目的に合わせた形で会議や研修を実施できます。今回は、主に研修会のためにご利用いただいている「(一社)静岡県私立幼稚園振興協会」様にお話を伺いました。

**Q. 団体の概要を教えてください。**

乳幼児教育における子どもの豊かな育ちについて研修・研究を深めるとともに、幼児教育に関わる者を支援し、家庭教育や地域における教育力の向上と幼児教育の振興・発展に寄与する団体です。現在、静岡県内私立幼稚園・認定こども園233カ園が加盟しています。

**Q. グランシップを利用したきっかけを教えてください。**

県内の先生方が集まって研修する場として最適と考えたのがきっかけです。駅に近く、電車を利用する先生方には大変便利です。また、会議ホール・風は、開場中や休憩時間、客席から見てステージ奥のスライド式の壁面を開けると、窓越しに大きな富士山を眺めることができ、遠方からお越しになる講師の先生方にも好評です。

**Q. 長く様々な用途でグランシップを利用していますか?**

開館してしばらく経った2001年頃から利用しています。会議ホールをはじめ、100名未満の研修会では会議室を使用し、中でも東海北陸地区の教育研究大会として約3500名が参加した研修会では大ホール、中ホール、複数の会議室を各分科会の会場として使用しました。他県の先生方から「素晴らしい会場で快適に研修できた」と感想をいただき、ほっとしたのを覚えています。

また、毎年実施している初任者研修会は、大学卒業後、久しぶりに同じ志を持つ友人と顔を合わせる機会にもなっていて、思い出の場所のひとつにグランシップを挙げてくださる先生も多いと聞いています。

**Q. グランシップを利用して良いと思う点がありますか?**

館内がきれいで清潔感があり、大小の会議室があることが魅力です。会議室の一体利用やフロアの貸し切りが出来ることも便利です。参加者のほとんどが女性という場合が多いのですが、そんな時はフロアのお手洗いを女性専用にしてくださるなどの配慮もありがたいです。職員の皆さんが明るく丁寧に対応してくれることも、利用者としては嬉しいポイントです。

**Q. 今後開催の催事について**

2022年3月下旬に、私立幼稚園・認定こども園に興味のある方を対象に、大ホール・海にて「就職フェア」を開催予定です。県内の幼稚園・認定こども園の様子をわかりやすく紹介できるよう準備を進めておりますので、たくさんの方の皆さんや再就職希望の方々にお越しいただければと思います。



会議ホール・風の壁面を開けた様子

空き状況は  
WEBで  
ご覧いただけます。

会議ホール・風のご予約は、  
利用開始1年前の同月初日15:00より承ります。



施設予約はコチラから

施設のご予約・サービスに  
関するお問い合わせ

(公財)静岡県文化財団 貸館事業課 催事サービスグループ  
TEL:054-203-5713 (受付時間9:00～20:00 ※休館日を除く)  
E-mail:yoyaku@granship.or.jp

グランシップ 検索

催事主催者様におかれましても、**グランシップ新型コロナウイルス感染症感染防止方針**に基づき、感染防止対策にご協力をお願いいたします。催事内容によっては、各業種別ガイドラインを確認ください。貸館催事に参加される一般のお客様も、マスク着用、検温、手指のアルコール消毒など、**グランシップホームページ掲載の(お客様へのお願い)**を確認の上、ご来館ください。感染拡大状況によっては、(お客様へのお願い)の内容を変更する場合があります。貸館・来館についての最新情報は、**グランシップホームページ**をご覧ください。